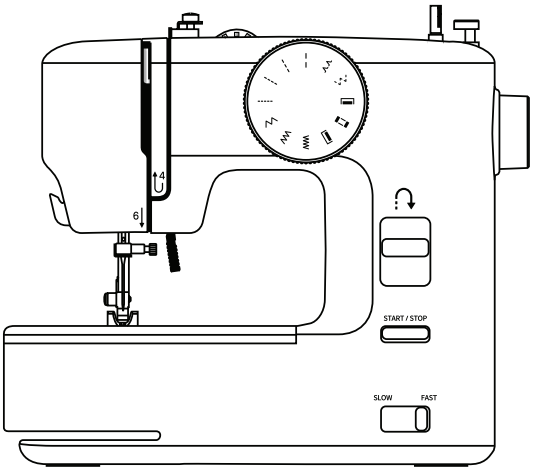
AXE YAMAZAKI

取扱説明書 保証書付き

型式：ＭＥ-20（エムイー） シリーズ



- 「 取扱説明書 」をよくお読みのうえ、この製品を安全にご使用ください。
- ご使用の前に「 安全上のご注意 」（ 1 ～ 2P ）を必ずお読みください。
- お読みになった後はいつでも見ることができるように、必ず保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1
取り扱いのお願い	2
各部の名まえ	3
付属品	5
電源を入れる	6
模様選択	8
スピード調節ツマミ	8
押え上げレバー	9
押えの取りはずしかた・取り付けかた	9
押えホルダーの取りはずしかた・取り付けかた	10
ボビンの取り出しかた	10
下糸の準備	11
上糸の準備	17
下糸の引き上げかた	22
縫ってみる	26
糸調子の合わせかた	34
糸、針、布の関係	36
返し縫い	37
フリーアーム	37
厚い布や段差を縫う	38
縫い方向の変えかた	39
ジグザグ縫い／縁かがり縫い	40
伸縮布を縫う	40
まつり縫い (裾上げ)	41
ボタンホール縫い	43
お手入れ	45
困ったときは	47
仕様	49
修理サービス要領	50
お問い合わせまたはご相談先	50
保証書	終

安全上のご注意

ご使用の前に「 取扱説明書 」を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。
以下の表示を無視して誤った取り扱いをすることにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- このミシンは日本国内向け家庭用です。
  For use in JAPAN only. 国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証はできません。
- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることをご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。

警告	この表示を無視して誤った使いかたをすると、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。	注意	この表示を無視して誤った使いかたをすると、人がケガをしたり財産に損害が生じる恐れがある内容を示しています。

この説明書で使用している絵文字の意味は次の通りです。

危険性を促す記号			行為を「 禁止 」する記号		行為を「 指示 」する記号	
火災の原因になります	感電の危険性があります	ケガの危険性があります	禁止	分解禁止	必ずすること	電源プラグを抜く

警告

死亡、火災、感電の恐れがあります。

火災・感電の原因となります。

一般家庭用電源 AC100V の電源以外では絶対に使用しないでください。
AC100V 50/60Hz

コードを傷つけたり、折り曲げ、結び、ねじれ、加工はしないでください。

傷付いたり、溶けて線がむき出しになったコードを使わないでください。
＊コードが傷付いた場合は販売店・サービスセンターにて純正部品をお買い求めください。

コードに机や椅子の脚など、重いものを載せないでください。

延長コードや分岐コンセントを使用したタコ足配線はしないでください。

火災・感電の原因となります。販売店・サービスセンターにご連絡ください。

ミシンの中に水や異物が入ったときは、電源を切り、AC アダプターを抜いてください。

発煙や異臭、異音などの異常が発生したら電源を切り、AC アダプターを抜いてください。

落としたり正常に作動しないときは AC アダプターを抜いてください。

AC アダプターをコンセント（ 家庭用電源 /100V ）にしっかりさし込んでください。

付属の AC アダプターはこのミシン専用です。
他の用途に使用したり、付属品以外の AC アダプターを使用しないでください。

ミシンの中に電池を長期間入れっぱなしにしないでください。
電池同士で通電し腐食します。

注意 ケガや財産に損害が生じる恐れがあります。

・電源を切るときは、AC アダプターを持ってコンセントを抜きさししてください。
コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
・ミシンの操作中はミシンから目を離さないでください。
・交換した針を放置しないでください。
・お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは特に安全に注意し、お子様から目を離さないでください。
・針を交換するときは、AC アダプターおよび電池を抜いてください。
作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因になります。
・屋外や直射日光のあたる場所、高温多湿な環境、寒い場所での使用は避けてください。
部品の劣化や変形、正常に作動しないことがあります。

・幼児の手が届かない場所に保管してください。
針や押えなどの突起でケガの原因になります。
・糸をセットするときやミシンの手入れを行うときは AC アダプターおよび電池を抜いてください。
作業途中にミシンが動く恐れがありケガの原因になります。

・コードは巻き付けないでください。
コードの断線や接触不良による感電の原因になります。
・濡れた手で AC アダプターを抜きさししないでください。
感電の原因になります。

・ミシンを使用しないときやミシンから離れたり使用を中断するときは AC アダプターおよび電池を抜いてください。
絶縁劣化、漏電などによる火災の原因になります。

・不安定な場所に置かないでください。
・動作中に、はずみ車・針・天びんに手を触れないでください。
手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。
・曲がった針は使用しないでください。
針が折れ、ケガの原因になります。
・ボビンカバーを開けたまま操作しないでください。
・縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
手や指が挟まる、針が刺さるなどケガの原因になります。

・電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れ・発火の恐れがあります。
以下に注意してください。

1. 二次電池（充電式電池）またはマンガン電池は、絶対に使用しないでください。
2. 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池をまぜて使用しないでください。
3. +−（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
4. 使用後は、必ず電源スイッチを切り、電池をはずしてください。
5. ショートさせたり充電・分解・加熱・火の中に入れたりしないでください。
6. 万一、電池から漏れた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。
皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。
7. 破棄するときは、自治体の廃棄物処理の指示に従ってください。

取り扱いのお願い

永くお使いいただくため、次のことを守ってください。

縫製以外や業務用、職業用の目的には、ご使用にならないでください。極度の部品摩耗や破損につながります。

注意 ケガやミシンの故障が発生する恐れがあります。

■ 曲がった針を使わない。
曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。
・針の穴に刺さらず、折れた針が飛んでケガの原因になります。　・押えや針板に傷を付け、糸調子が合わなくなります。

■ このミシンで縫えないもの。
次のものはこのミシンでは縫えません。針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針が折れるなどの原因になります。
・木、プラスチック、金属などの板・ぬれた布、粗い網（漁網など）・はずみ車を手で回しても、針が刺さりにくい布　・極端な段差

■ 保管時の結露（つゆつき）について。
寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に結露（つゆつき）が起こることがあります。結露がなくなるまで、AC アダプターをコンセント（家庭用電源 /100V）に接続しないでください。そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。

■ 直射日光・熱気をさける。
直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。

■ 糸が絡んでしまったとき、糸・布を引っ張らない、無理にはずみ車を回さない。
針や部品を破損します。

■ ミシン表面のお手入れ。
プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。
※ ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。

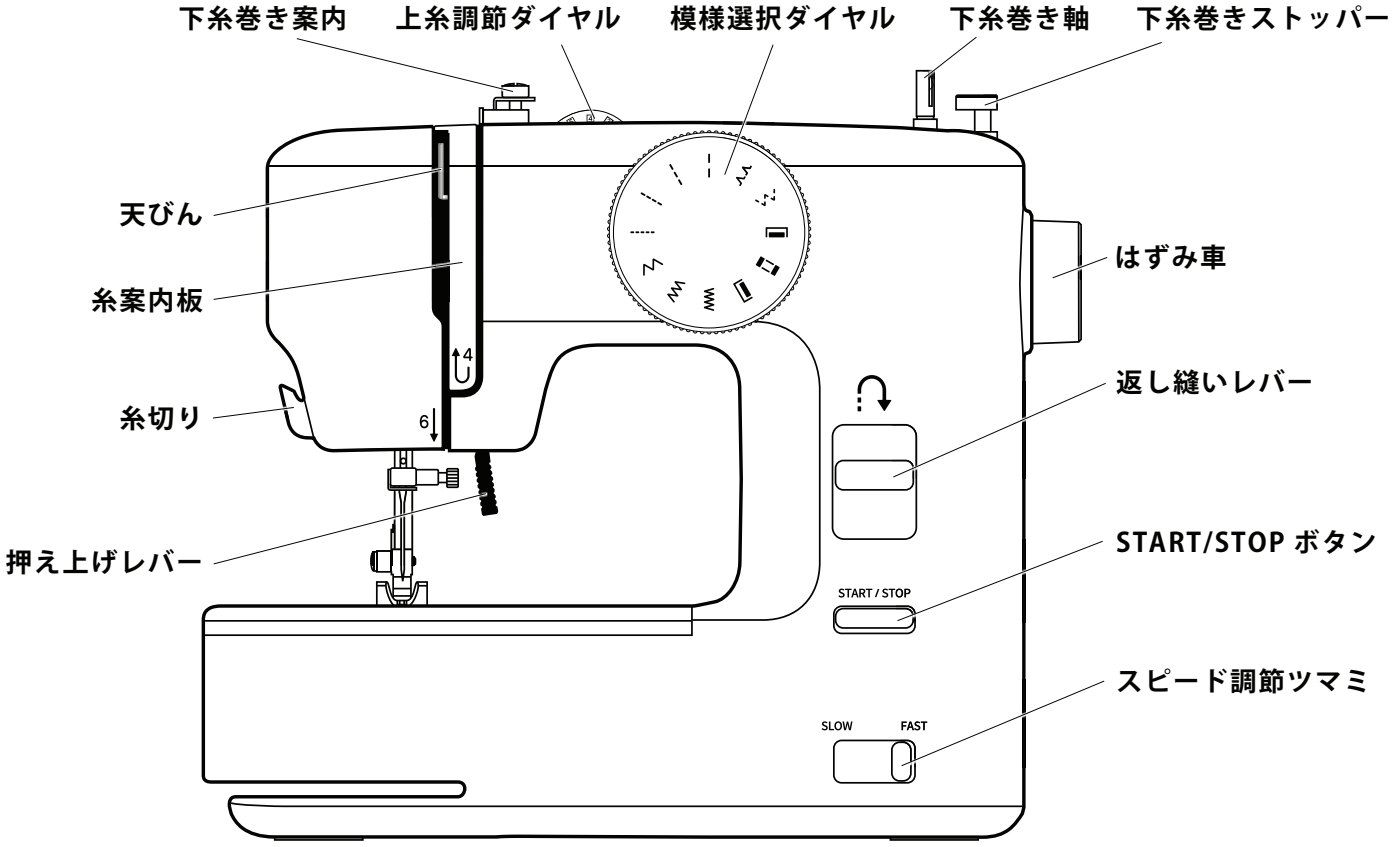
■ 取扱説明書で指定された以外の分解・改造はしない。
ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針が折れるや部品の破損につながります。

■ 使用した後、上糸をはずす。
糸をかけたまま収納すると、糸立て棒を破損します。上糸ははずしてください。

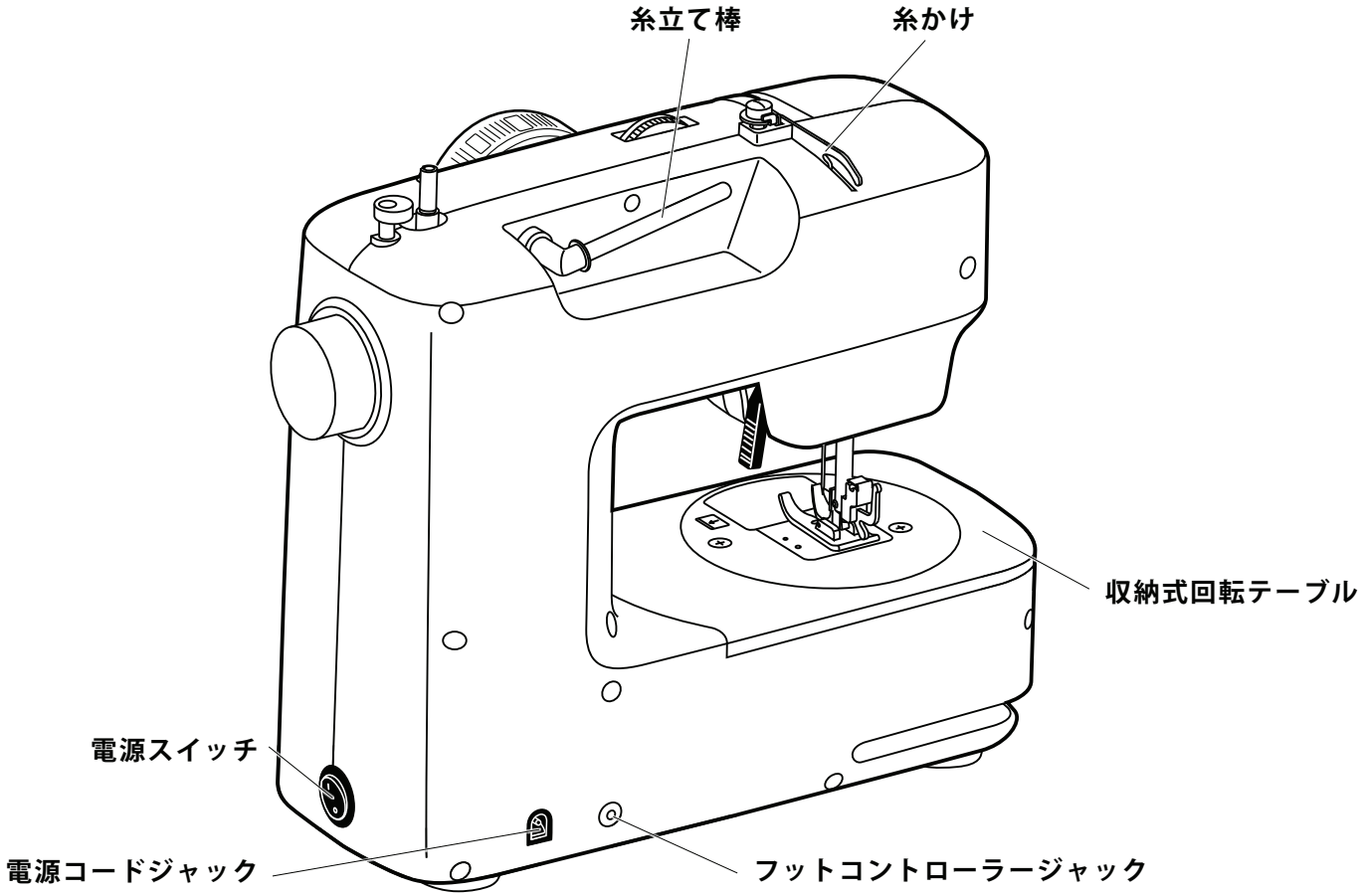
■ 長期間使用しないとき。
長期間使用しないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。
時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。

各部の名まえ

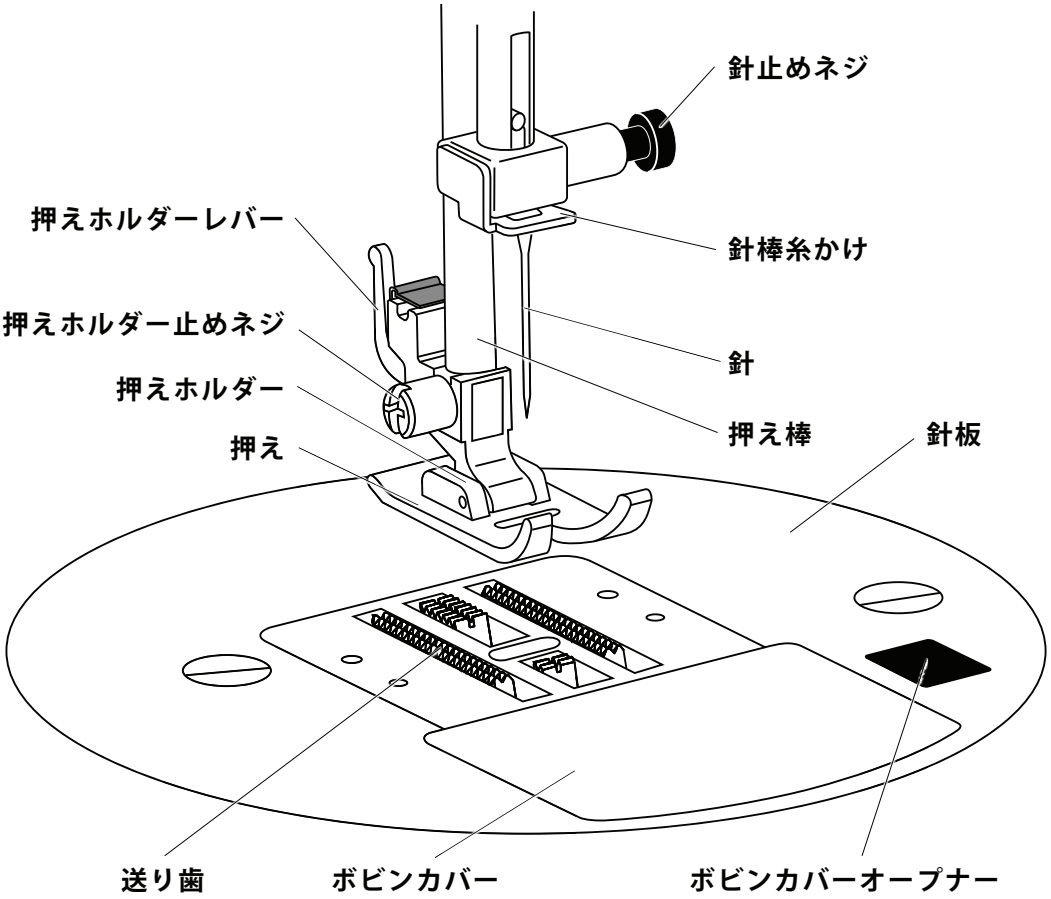
●ミシン本体〈 正面 〉



●ミシン本体〈 背面 〉

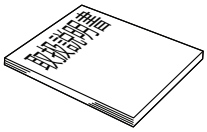


●針の周辺

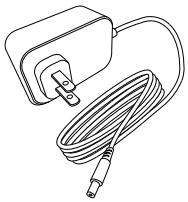

針止めネジ
押えホルダーレバー
針棒糸かけ
押えホルダー止めネジ
針
押えホルダー
押え棒
針板
押え
送り歯
ボビンカバー
ボビンカバーオープナー

付属品

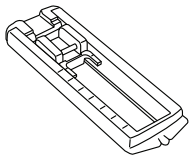
- 必ず専用の付属品をご使用ください。
- ボビンをお買い求めるときは家庭用プラスチックボビン(高さ11.5㎜×直径20.5㎜)とご指定ください。
- 針をお買い求めるときは市販の家庭用ミシン針（HA × 1）をご指定ください。



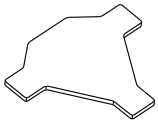
取扱説明書（本書）



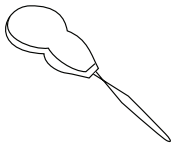
AC アダプター
（出力:12V 2.0A）



ボタンホール押え

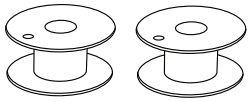


針板ドライバー
（針止めネジ／
押えホルダー止めネジ用）

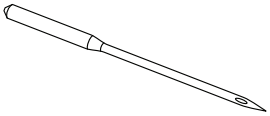


糸通し器

糸こま押え



家庭用プラスチックボビン 2 個
（高さ 11.5㎜×直径 20.5㎜）



針 1 本（HA × 1　14 番）

電源を入れる

警告

・電源コードはACアダプターを持って抜く。
　コードのみを引っ張ると、ACアダプターのコード部分が破損し、火災、感電、機器故障の原因になります。

注意

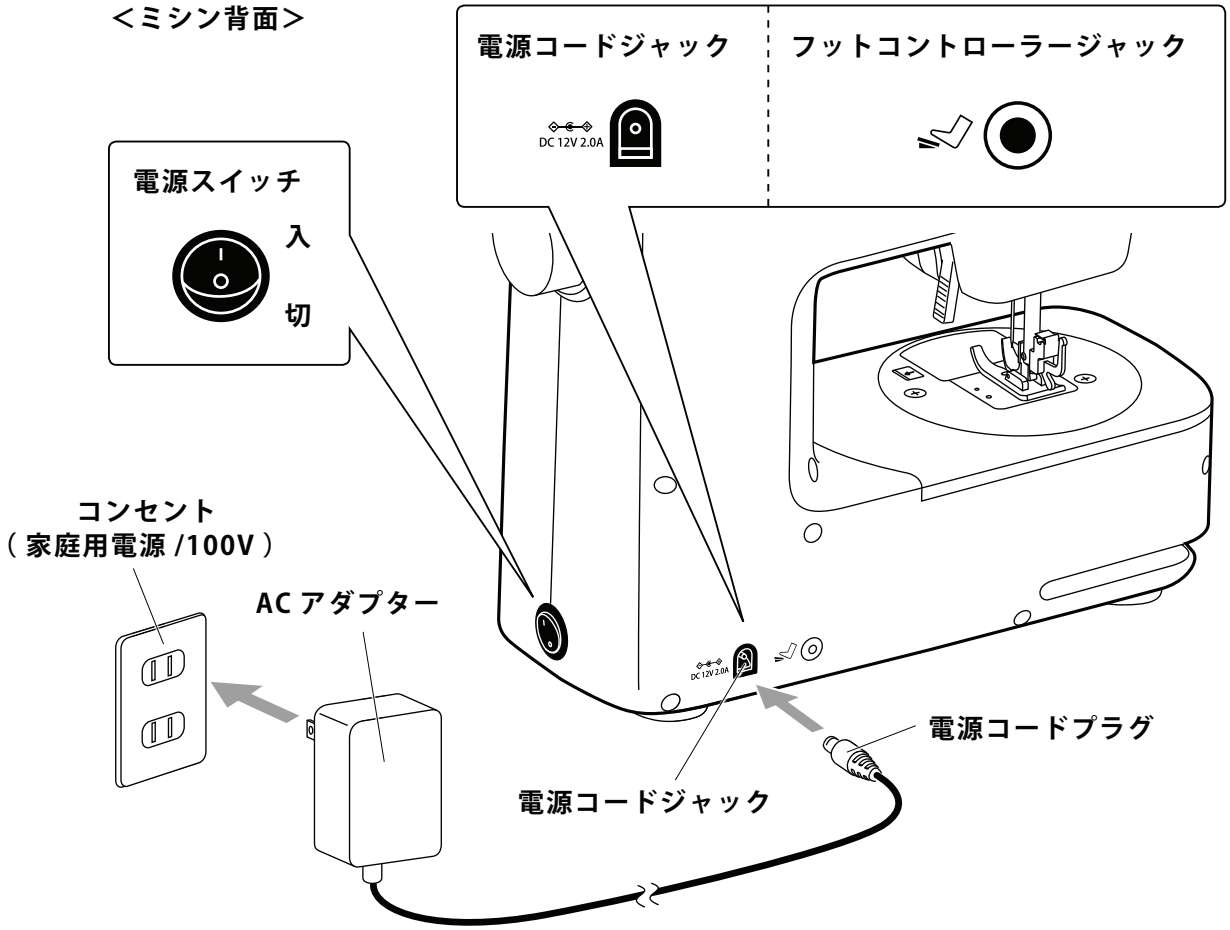
・電源スイッチを『 ○ 』にする。
　突然動くとケガをする恐れがあります。

・ACアダプターを使用するときは、電池を必ず抜いてください。

・ACアダプターは必ず純正品を使用する。

・はずみ車や針周辺に手や物を置かない。
・周囲に物を置かない。
・水平なところにミシンを設置する。
・作業スペースを確保する。

●ACアダプター



【1】『 電源スイッチ 』を『 ○ 』側に押し、電源を切ります。

【2】『 電源コードプラグ 』をミシン本体の『 電源コードジャック 』に確実にさし込みます。

【3】『 ACアダプター 』を『 コンセント（ 家庭用電源 /100V ）』に、確実にさし込みます。

【4】『 電源スイッチ 』を『 I 』側に押し、電源を入れます。

●電池(単3形アルカリ電池×4本)

注意

・電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れ・発火の恐れがあります。
以下に注意してください。

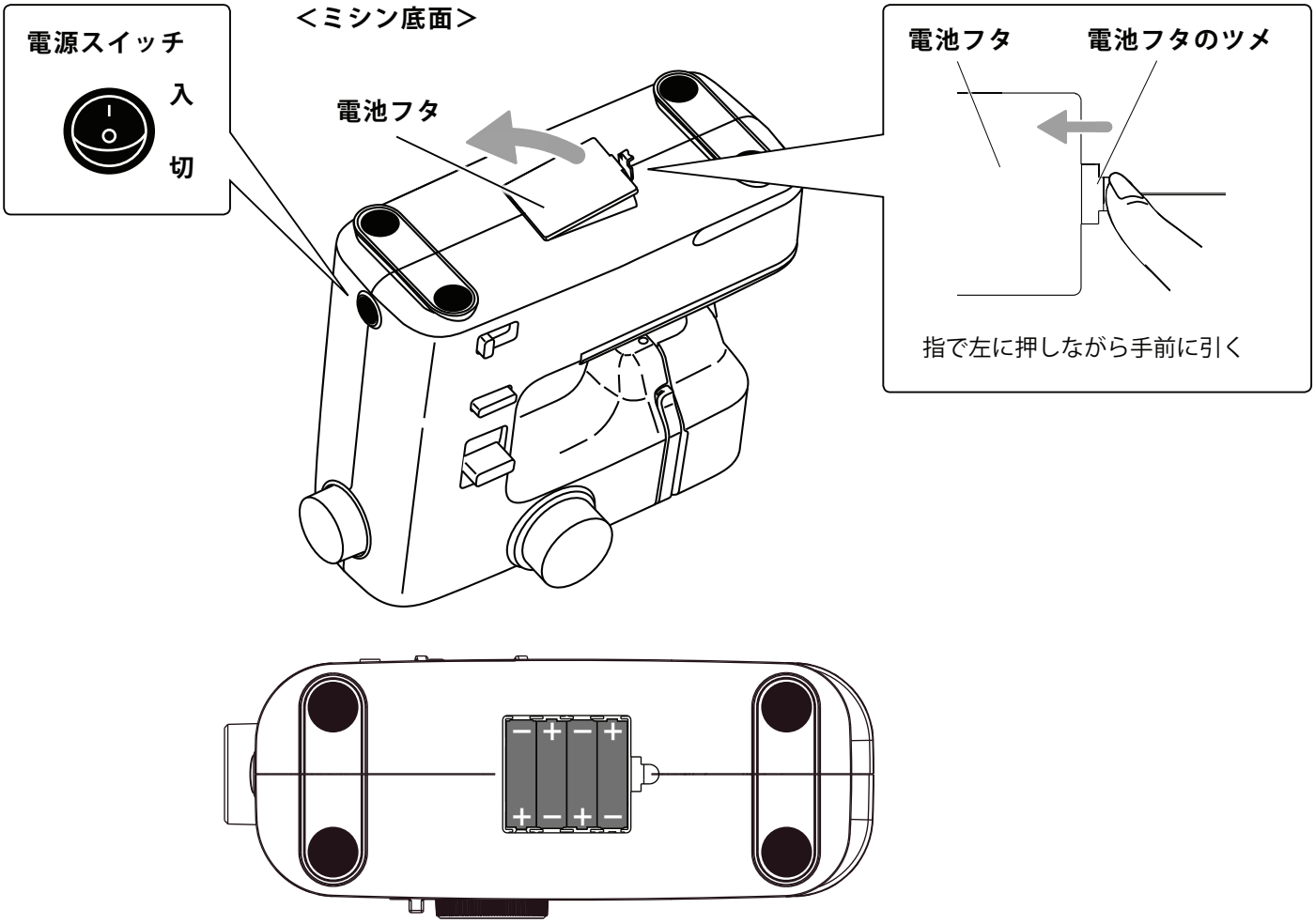
1. 二次電池（充電式電池）またはマンガン電池は、絶対に使用しないでください。
2. 古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池をまぜて使用しないでください。
3. +−（プラスマイナス）を正しくセットしてください。
4. 使用後は、必ず電源スイッチを『O』にし、電池をはずしてください。
5. ショートさせたり充電・分解・加熱・火の中に入れたりしないでください。
6. 万一、電池から漏れた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。皮膚や服に付いたときは水で洗ってください。
7. 破棄するときは、自治体の廃棄物処理の指示に従ってください。

・電池の向きを間違えると、一部の電池が充電されることになり、液漏れや破裂の原因になります。

・**電池を使用するときは、ACアダプターを必ず抜いてください。**

単3形アルカリ電池使用縫製可能持続時間の目安

デニム2枚重ね　連続運転時　約30分（30～40cmのレッスンバック2個分）
＊布の種類や布の重なり具合、アルカリ電池の種類により縫製可能持続時間には差があります。



【1】『電源スイッチ』を『○』側に押し、電源を切ります。

【2】ミシンの底面にある『電池フタ』を開きます。

【3】単3形アルカリ電池4本を図のようにセットします。

【4】電池フタの凸をミシンの底面にある穴にさし込み、『電池フタ』を閉じます。

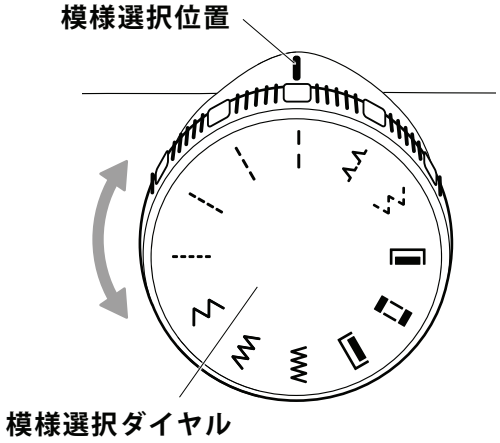
【5】『電源スイッチ』を『I』側に押し、電源を入れます。

模様選択

注意

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

・針が布に刺さった状態で
模様選択ダイヤルを回さない。
針が折れ、ケガをする恐れがあります。



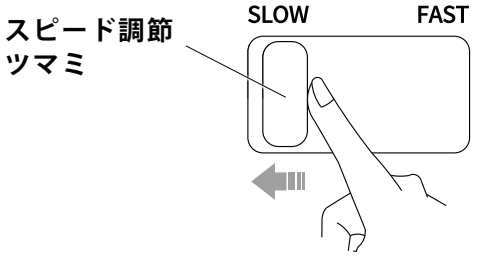
模様選択は『 模様選択ダイヤル 』を回して
『 模様選択位置 』にお好みの縫い模様を合わせます。

＊『 模様選択ダイヤル 』は左右どちらにも
回すことができます。

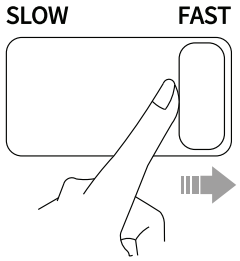
表示					
模様	直線縫い (中基線) 送り幅・最大 送り幅・大 送り幅・中 送り幅・小	ジグザグ縫い 送り幅・大 送り幅・中 送り幅・小	ボタンホール1 ボタンホール2・4 ボタンホール3	点線ジグザグ	まつり縫い
用途	地縫い	ほつれ止め	ボタンホール	パッチワーク ほつれ止め	裾上げ

スピード調節ツマミ

『 スピード調節ツマミ 』を調節することで、ミシンの
運転速度を好みのスピードに調節できます。



・ゆっくり縫うとき
『 スピード調節ツマミ 』を『 SLOW 』側に
スライドさせます。

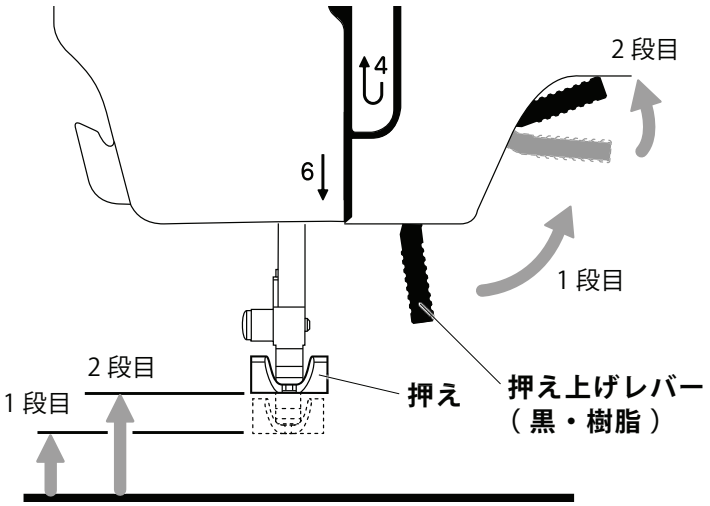


・はやく縫うとき
『 スピード調節ツマミ 』を『 FAST 』側に
スライドさせます。

押え上げレバー

注意

・針先に注意する。
　ケガをする恐れがあります。



『押え上げレバー（黒・樹脂）』を上げると『押え』が上がります。
更に『押え上げレバー（黒・樹脂）』を上げると『押え』がもう 1 段上がる 2 段階式になっています。

＊2 段目では、『押え』の高さは固定できません。

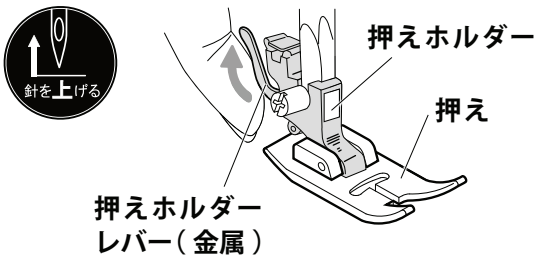
＊布の厚みは 1 段目の高さを超えないようにしてください。

押えの取りはずしかた・取り付けかた

注意

・電源スイッチを『○』にする。
　突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
　ケガをする恐れがあります。

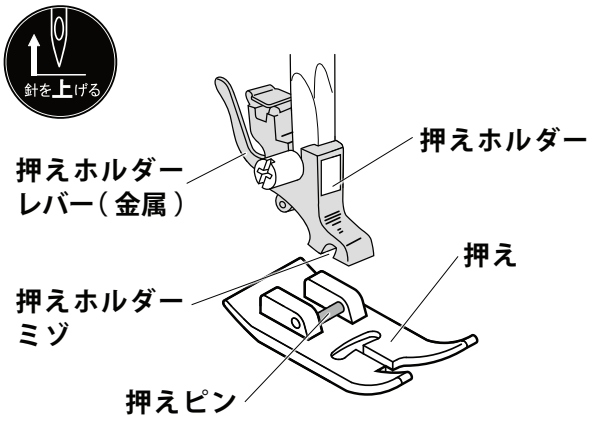


●押えの取りはずしかた

【1】『はずみ車』を手前に回し、針を上げます。

【2】『押え上げレバー（黒・樹脂）』を上げます。

【3】『押えホルダーレバー（金属）』を上げると『押え』がはずれます。



●押えの取り付けかた

【1】針と『押え上げレバー（黒・樹脂）』を上げます。

【2】『押えピン』を『押えホルダーミゾ』の真下に置きます。

【3】『押え上げレバー（黒・樹脂）』をゆっくり下げ『押えピン』と、『押えホルダーミゾ』を合わせ装着します。

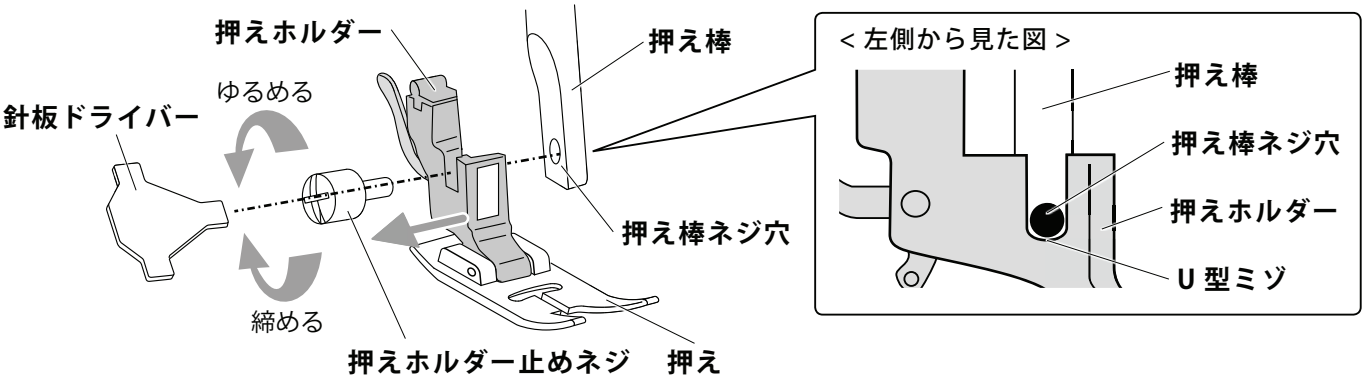
＊『押え』がセットされると「カチッ」と音がします。

＊音がしない場合や『押え』がすぐにはずれるときはもう一度『押えピン』と『押えホルダーミゾ』の位置を合わせ直してください。

押えホルダーの取りはずしかた・取り付けかた

・電源スイッチを『 ○ 』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



【1】『 はずみ車 』を手前に回し、針を上げます。

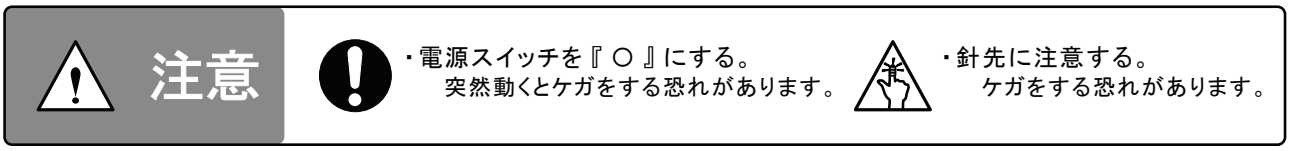
【2】『 押え上げレバー（ 黒・樹脂 ）』で『 押え 』を上げます。

【3】はずす：『 押えホルダー止めネジ 』を『 針板ドライバー 』でゆるめ、
『 押えホルダー 』をはずします。

付ける：『 押えホルダー 』の『 U 型ミゾ 』と『 押え棒ネジ穴 』の位置を合わせ、
『 押えホルダー止めネジ 』を『 針板ドライバー 』で強く締めます。

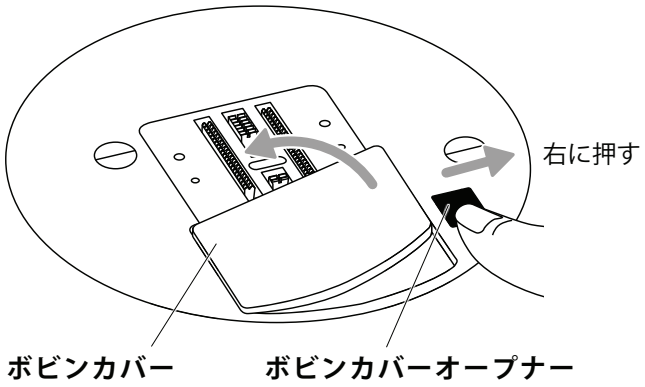
＊付属の『 針板ドライバー 』をご使用ください。

ボビンの取り出しかた



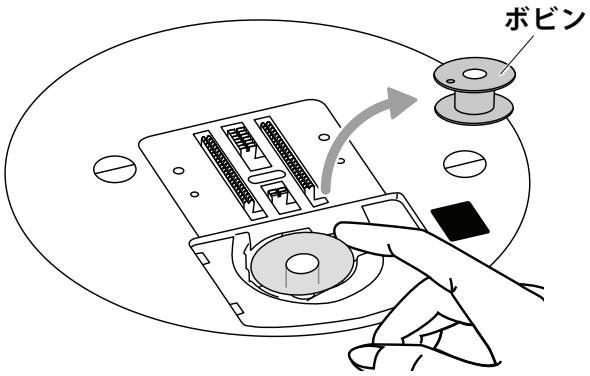
・電源スイッチを『 ○ 』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



【1】『 押え上げレバー（ 黒・樹脂 ）』で
『 押え 』を上げます。
（ P9 の押え上げレバーを参照してください ）

【2】『 ボビンカバーオープナー 』を右に押し、
『 ボビンカバー 』をはずします。



【3】『 ボビン 』を取り出します。

下糸の準備

＊ボビンは家庭用プラスチックボビン(高さ11.5㎜×直径20.5㎜)をご使用ください。
(異なるボビンを使用するとミシンの故障の原因になる恐れがあります)

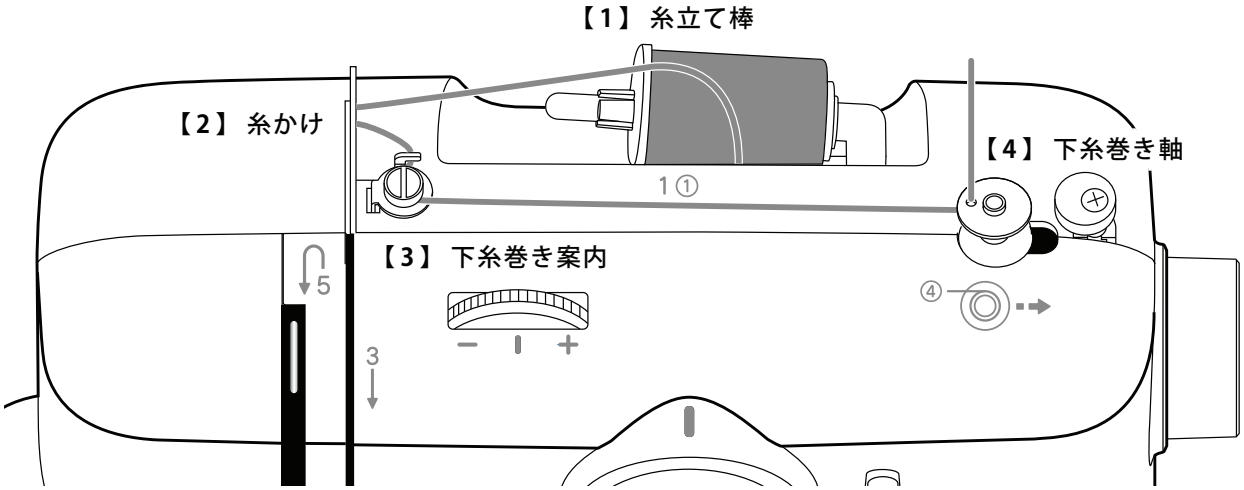
●下糸の巻きかた

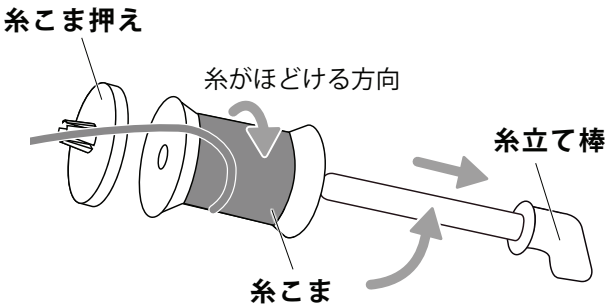
注意

・電源スイッチを『○』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・下糸巻きの作業中は下糸巻き軸ボビンに触れない。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



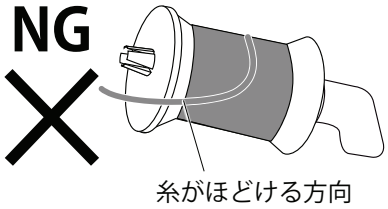


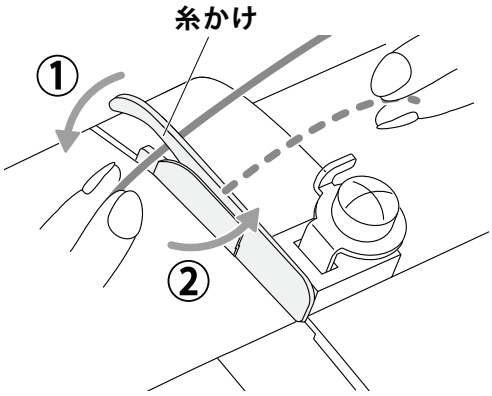
【1】『糸立て棒』を少し上に傾け、糸の端が時計回りにほどけるように入れ、『糸こま押え』で『糸こま』を押えます。

＊『糸こま』が飛び出してこないように『糸こま押え』で必ず押えます。

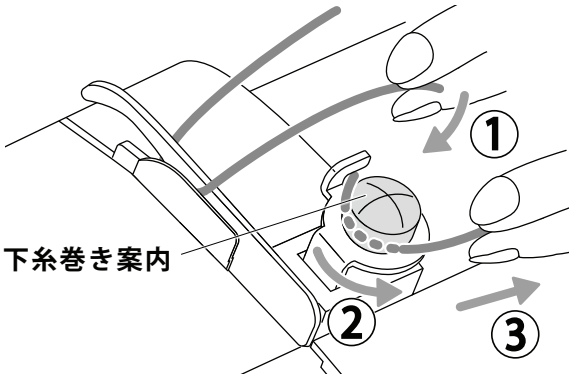
注意

糸のほどける方向が反時計回りにかけると縫っていると途中で糸が絡んで止まることがあります。





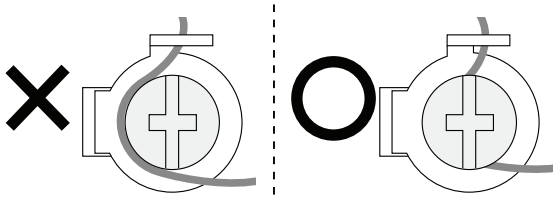
【2】『糸かけ』に糸をかけます。

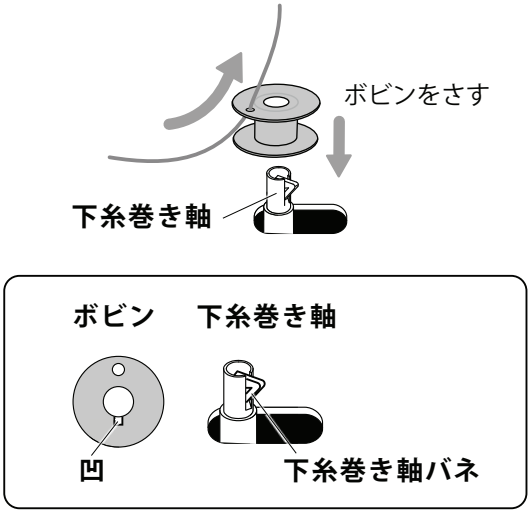


【3】『下糸巻き案内』の左側に奥まで
しっかり糸をかけます。

注意

『下糸巻き案内』に奥まで糸が入って
いないと正常に糸が巻けません。



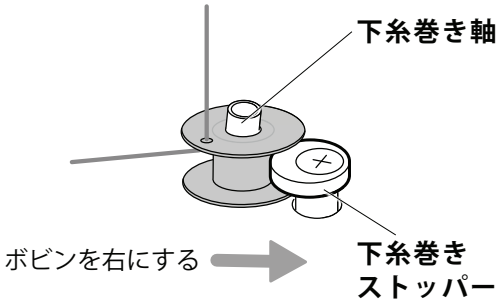


【4】『ボビン』の穴に内側から糸を通し、
『ボビン』を『下糸巻き軸』にさします。

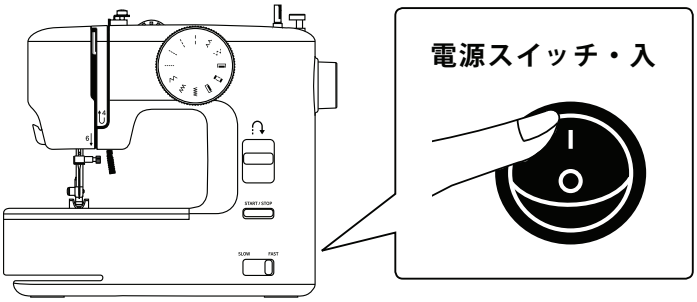
＊『ボビン』を『下糸巻き軸』にさすとき、
『ボビンの凹』と『下糸巻き軸バネ』を
合わせてください。

注意

『ボビンの凹』と『下糸巻き軸バネ』を
合わせないと糸を巻くとき、『ボビン』が
空回りして糸が巻けません。



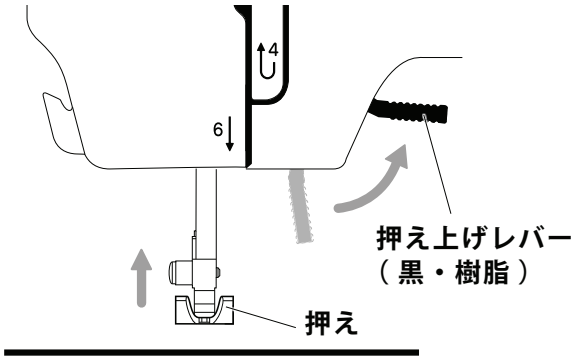
【5】『下糸巻き軸』を右に移動させます。



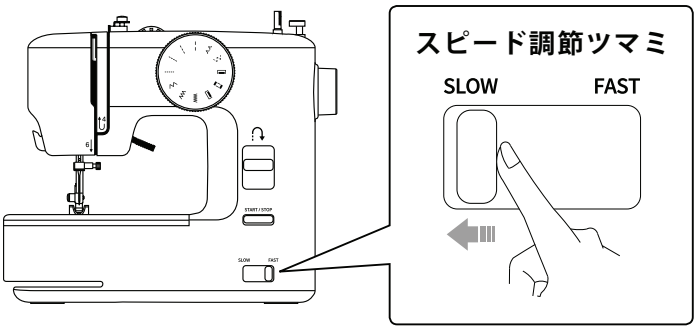
【6】『電源スイッチ』を『○』側に押し、電源を切り
『電源コードプラグ』をミシン本体の『電源
コードジャック』に確実にさし込みます。

【7】『ACアダプター』を『コンセント（家庭用電源
/100V）』に、確実にさし込みます。
（P6の電源を入れるを参照してください）

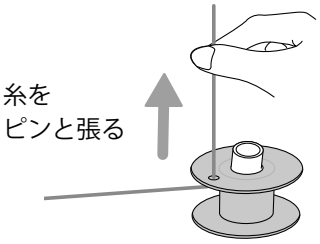
【8】『電源スイッチ』を『I』側に押し
電源を入れます。



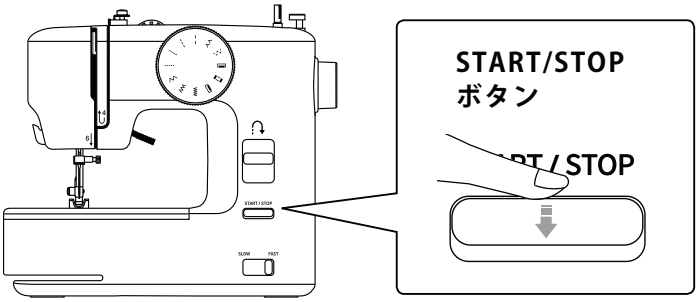
【9】『押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『押え』を上げます。



【10】『スピード調節ツマミ』を『SLOW』にします。



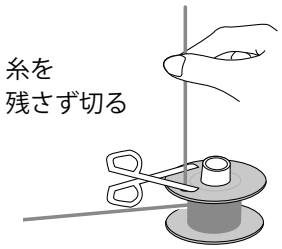
【11】糸の端を持ち、『START/STOP ボタン』を
軽く押して『ボビン』に数回、糸を巻きつけ、
『START/STOP ボタン』を押してミシンを
止めます。



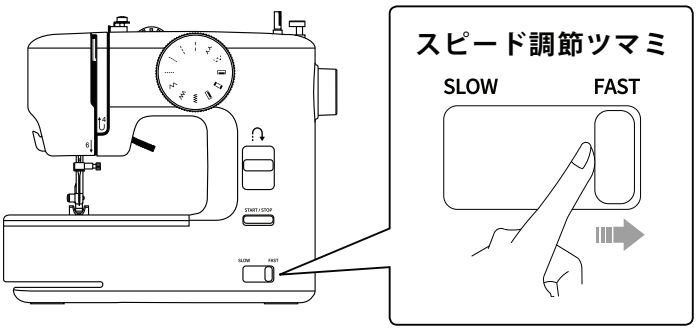
注意

・糸の巻き込まれを防ぐために『START/STOP
ボタン』を押して数回、糸を巻いている
ときは、糸の端を持ち続けてください。

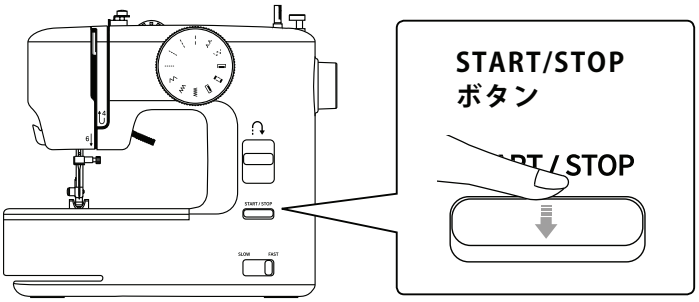
・『START/STOP ボタン』は強く押さないで
ください。



【12】持っていた糸を『ボビン』の穴のきわで
切ります。



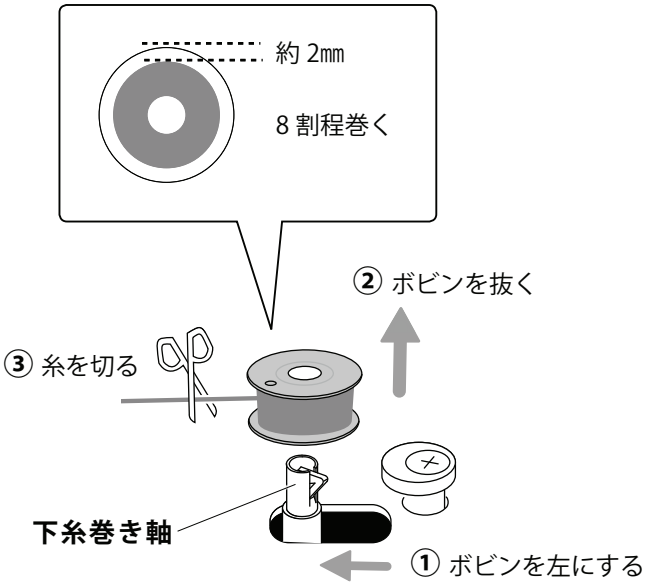
【13】『スピード調節ツマミ』を『FAST』にします。



【14】『START/STOP ボタン』を軽く押して
糸を巻きます。

注意

『START/STOP ボタン』は強く押さないで
ください。



【15】8 割程巻き終わったら、『START/STOP ボタン』を
軽く押してミシンを止めます。
『下糸巻き軸』を左に戻し、『ボビン』を抜き、
糸を切ります。

●下糸のセット

＊ボビンは家庭用プラスチックボビン (高さ 11.5㎜×直径 20.5㎜) をご使用ください。
(異なるボビンを使用するとミシンの故障の原因になる恐れがあります)

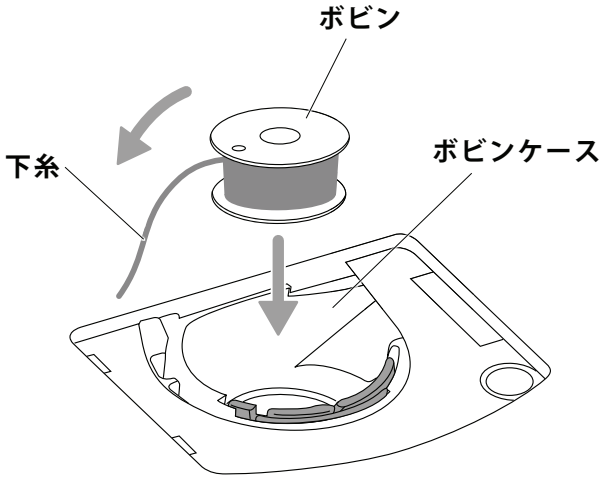
注意

・電源スイッチを『 ○ 』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

注意

＊糸の端が下記のように残っていると、糸がカマの内部に引っかかり、糸絡みの原因になります。

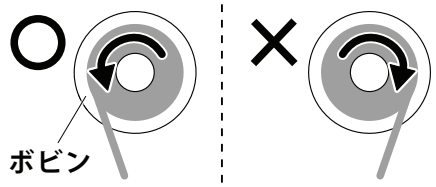


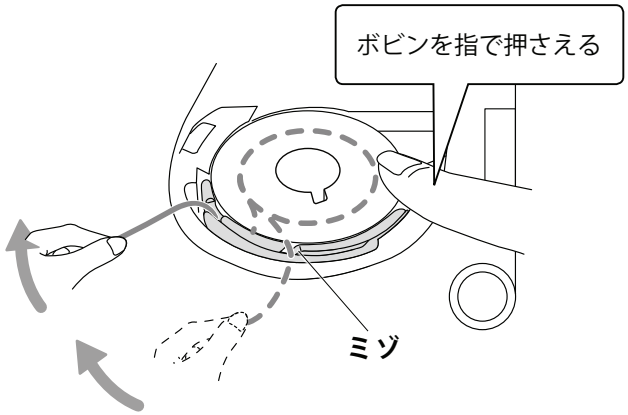
【1】『 押え上げレバー (黒・樹脂)』で
『 押え 』を上げます。
(P9 の押え上げレバーを参照してください)

【2】下糸は『 ボビン 』の左側から糸が
出るように『 ボビンケース 』に入れます。

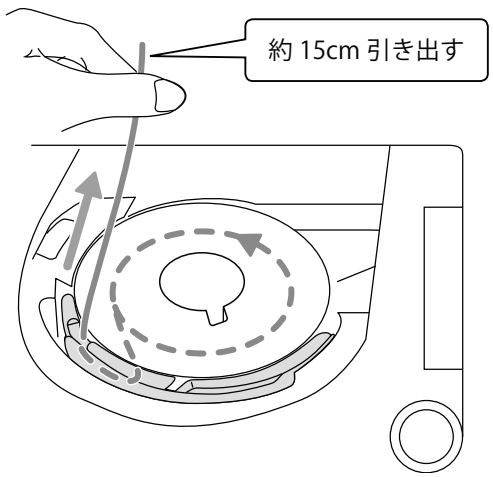
注意

『 ボビン 』の向きは時計方向に入れると
縫っているときに突然糸絡みして
ミシンが動かなくなることがあります。





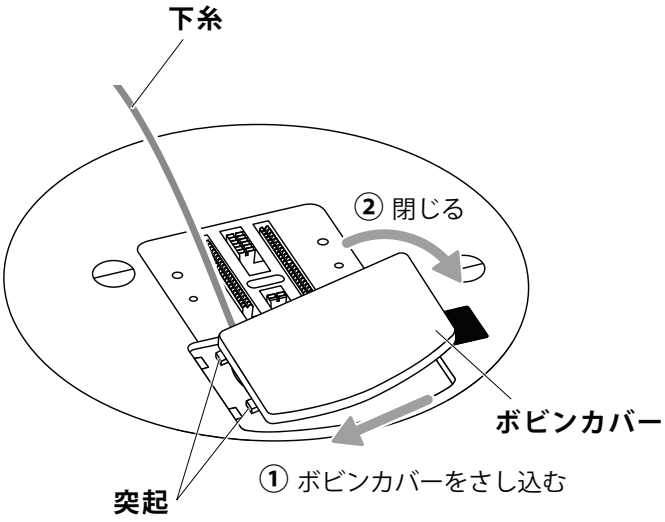
【3】『 ボビン 』を指で軽く押えながら
引き出した糸を『 ミゾ 』にかけ
左奥に引き出します。



【4】下糸を向こう側に約 15cm 引き出します。
＊下糸を引き出したとき、『 ボビン 』は
反時計方向に回転します。

注意

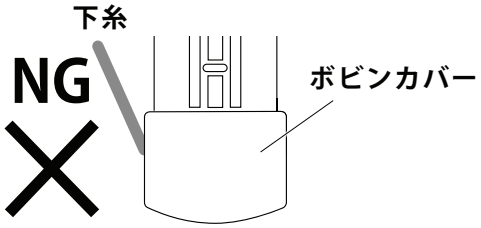
下糸が 15cm 以下の場合、下糸を引き上げ
ない、縫い始めや縫っているときに
突然糸絡みしてミシンが動かなくなることが
あります。



【5】『 ボビンカバー 』の左側の突起をさし込み閉じます。
＊下糸は『 ボビンカバー 』の上から
引き出しておきます。

注意

下糸を『 ボビンカバー 』の左側に挟まないよう
注意してください。
下糸が上がらなくなることがあります。

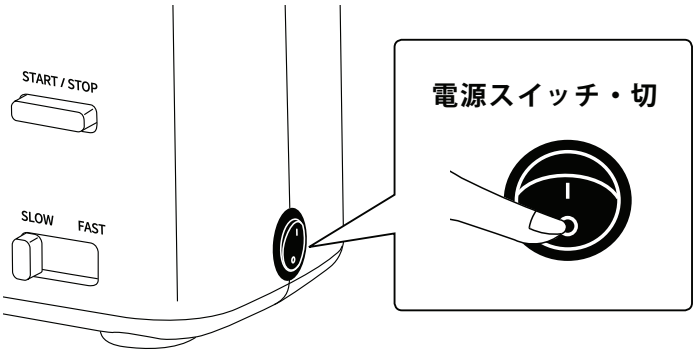


●針・天びん・押えを上げる

注意

・電源スイッチを『 ○ 』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

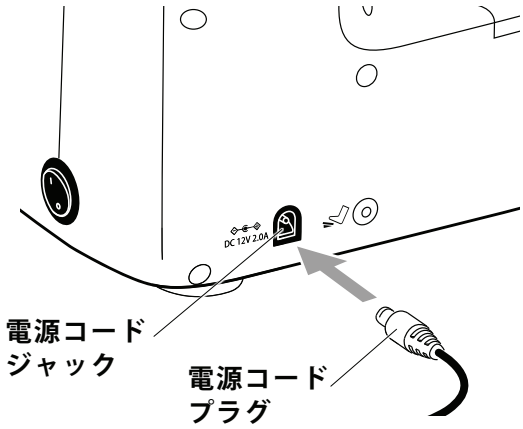
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



【1】『 電源スイッチ 』を『 ○ 』側に押し
電源を切ります。

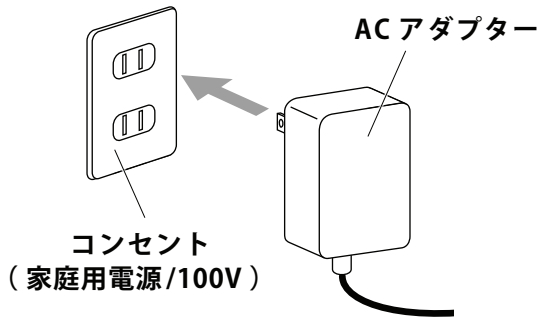
【2】『 電源コードプラグ 』をミシン本体の
『 電源コードジャック 』に確実にさし込みます。

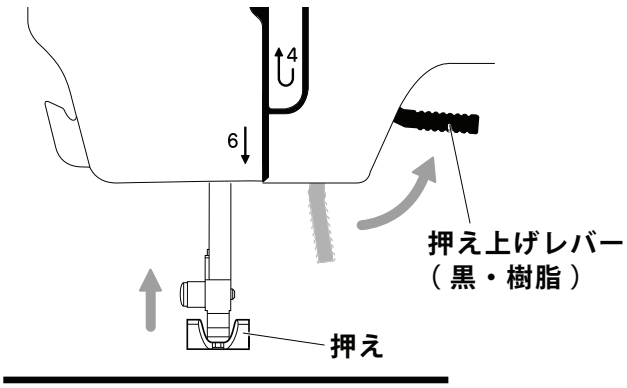
【3】『 AC アダプター 』を『 コンセント（ 家庭用電源
/100V ）』に確実にさし込みます。



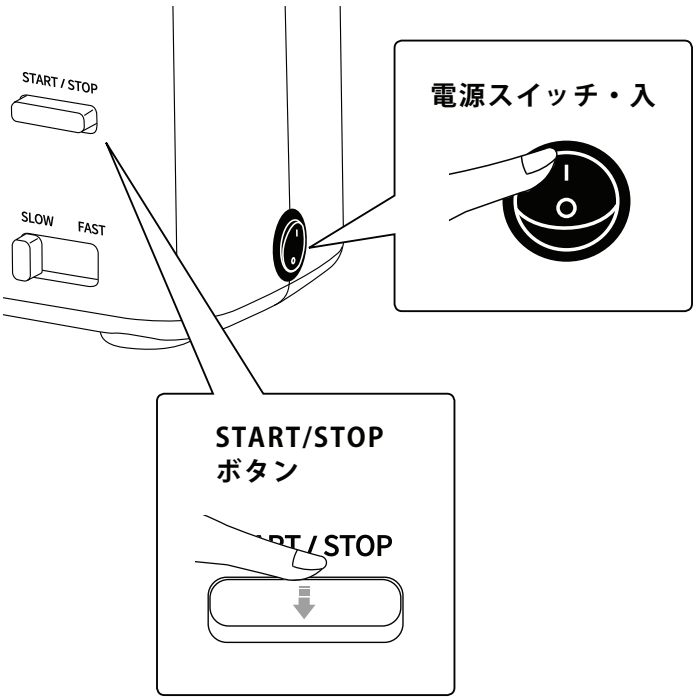
注意

『 AC アダプター 』を使用しているときは
電池は必ず抜いてください。





【4】『 押え上げレバー（ 黒・樹脂 ）』で
『 押え 』を上げます。



【5】『 電源スイッチ 』を『 I 』側に押し
電源を入れます。

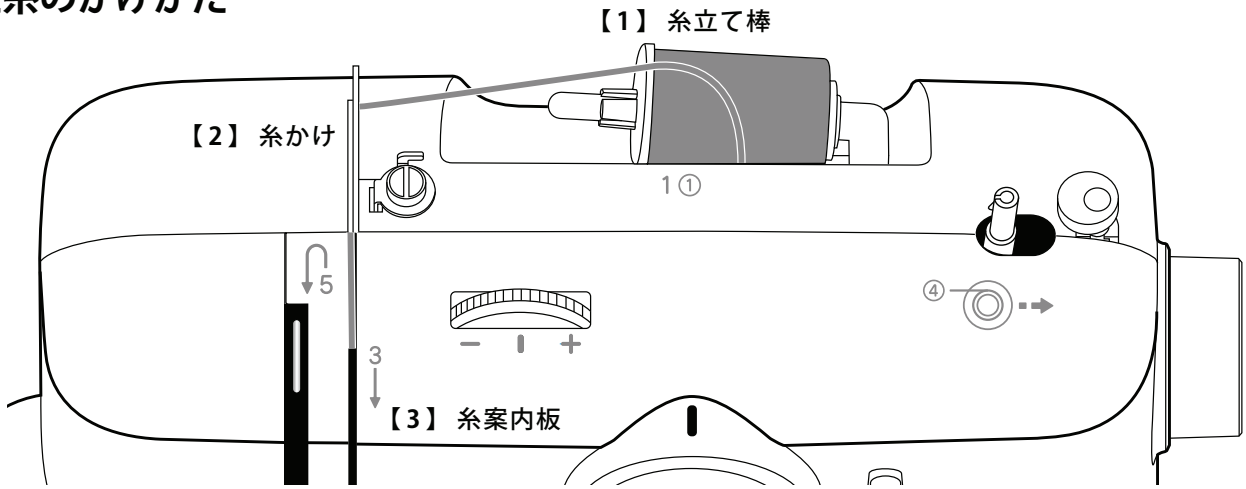
【6】『 START/STOP ボタン 』を押し 1 秒程
動かしてから再度『 START/STOP ボタン 』を
押してミシンを止めて、針を一番上します。

注意

『 START/STOP ボタン 』は強く押さないで
ください。

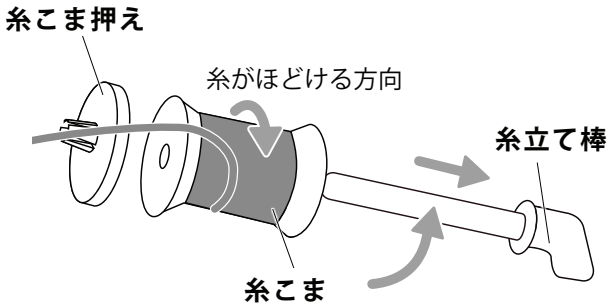
【7】『 電源スイッチ 』を『 ○ 』側に押し
電源を切ります。

●上糸のかけかた



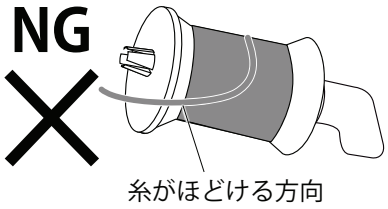
【1】『 糸立て棒 』を少し上に傾け、糸の端が
時計回りにほどけるように入れ、『 糸こま
押え 』で『 糸こま 』を押えます。

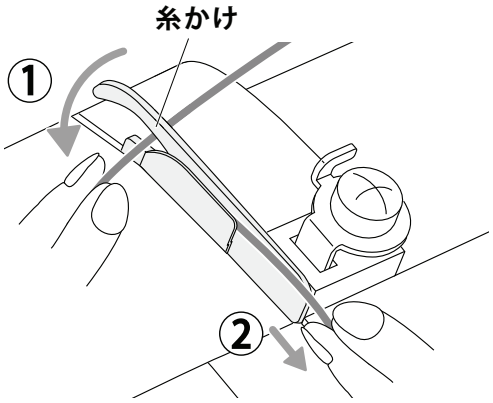
＊『 糸こま 』が飛び出してこないように
『 糸こま押え 』で必ず押えます。



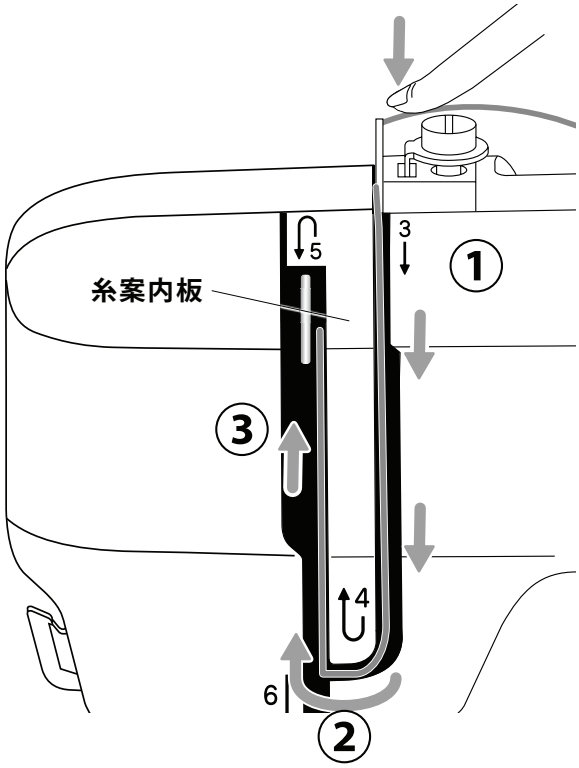
注意

糸のほどける方向が反時計回りに
かけると縫っていると途中で
糸が絡んで止まることがあります。





【2】『 糸かけ 』に糸をかけます。

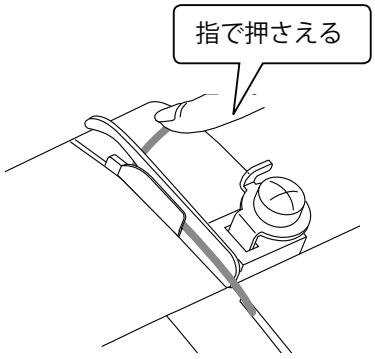


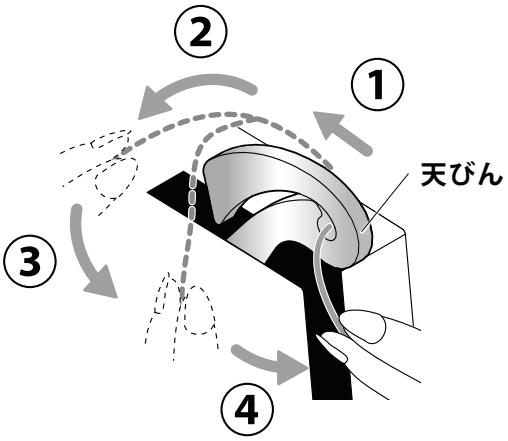
【3】 上糸を指で軽く押えながら
『 糸案内板 』にそって下します。

【4】 左上に引き上げます。

ポイント！

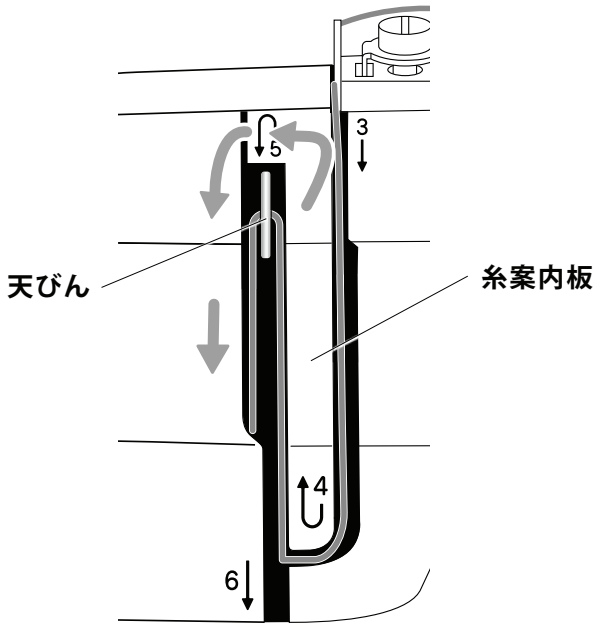
上糸を押さえながら『 糸案内板 』
にそってしっかり糸を通します。





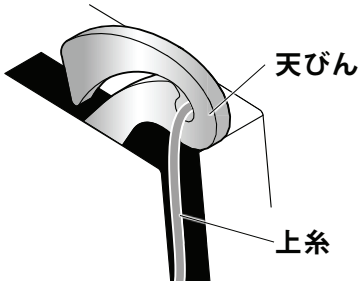
【5】上糸を『天びん』の穴に右から
左に通します。

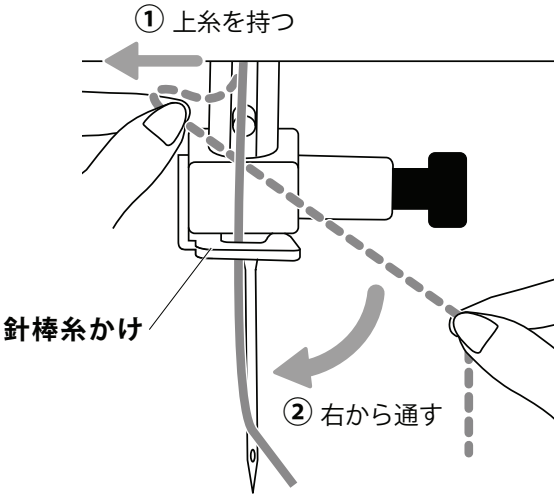
【6】そのまま『糸案内板』にそって
上糸をおろします。



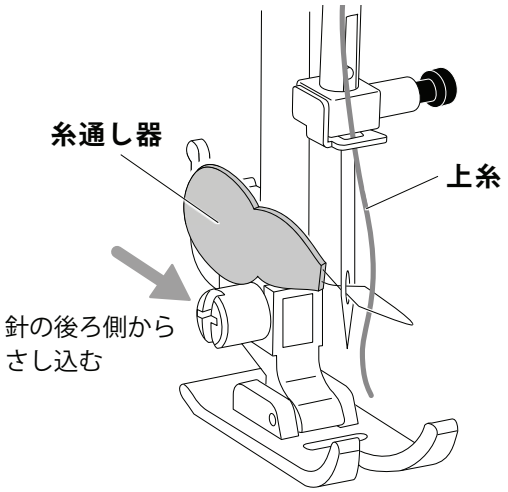
注意

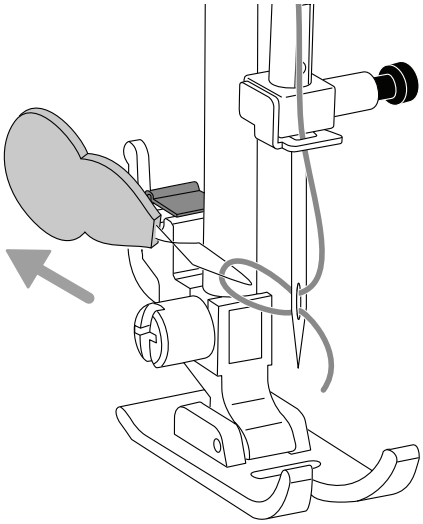
『天びん』から上糸がはずれていると縫い始めに
糸絡みしますので注意してください。

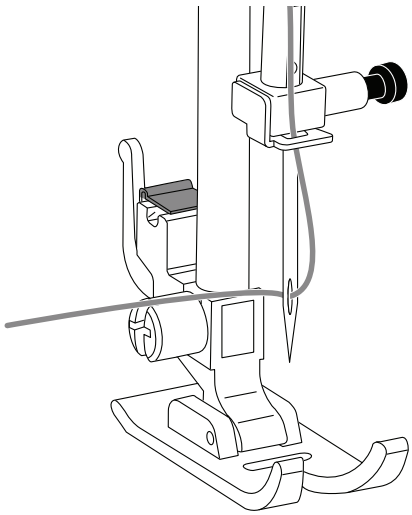




【7】『針棒糸かけ』に右から上糸をかけます。







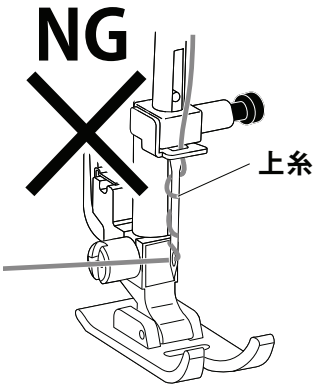
【8】 針の後ろ側から『 糸通し器 』を通します。
『 糸通し器 』の上から糸を通し
『 糸通し器 』を後ろ側に引き抜きます。

＊『 糸通し器 』が使いにくいときは
『 押え 』を下げてから使用してください。

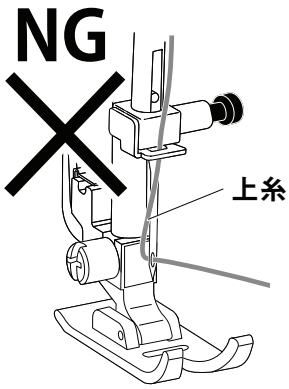
＊『 糸通し器 』を使用しない場合は
針の穴に【 前から後ろ 】に糸を通します。

注意

・針に上糸が巻きついていると正しく縫えません。



・上糸を通す方向が逆の場合、正しく縫えません。

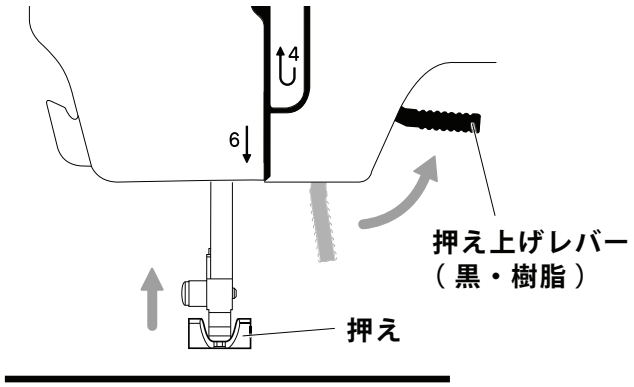


●下糸の引き上げかた

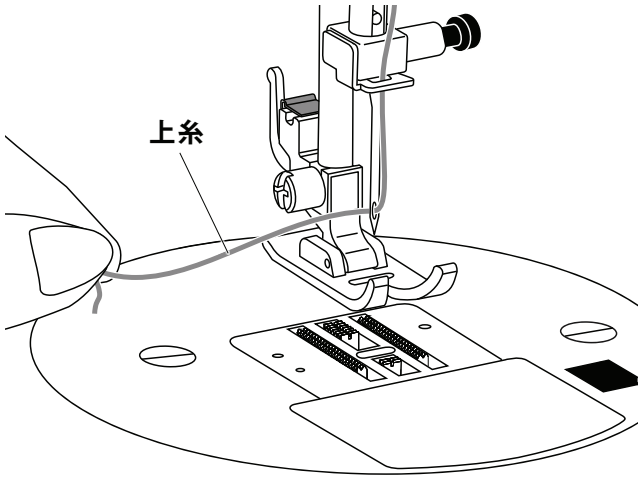
注意

・電源スイッチを『 ○ 』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。



【1】『 押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『 押え 』を上げます。

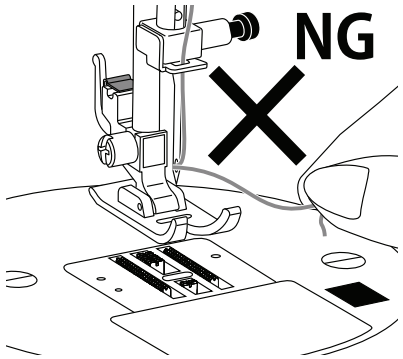


【2】上糸の端を持ちます。

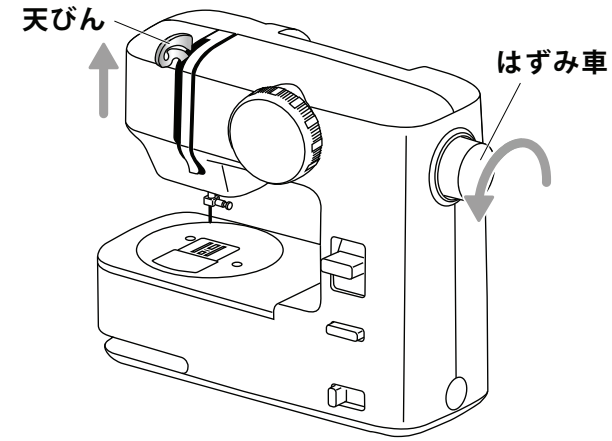
注意

・上糸は針の前方付近で持たないでください。

・上糸は軽く持つだけにしてください。

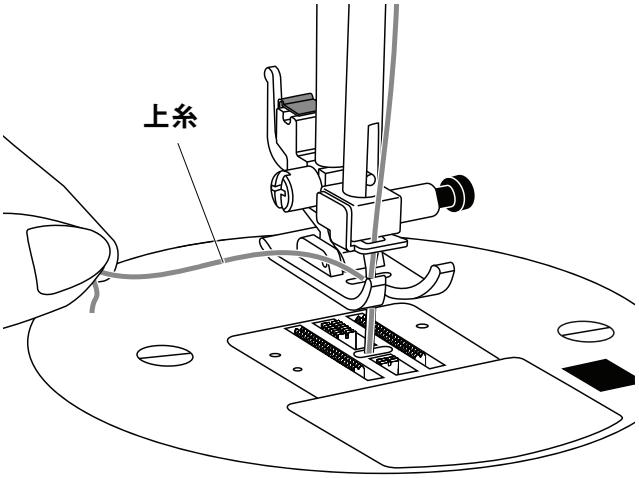


< ミシン右側面 >



【3】 上糸を軽く持ったまま『 はずみ車 』を
手前に 1 回転し、針を上下させ
針と『 天びん 』を上げます。

＊上糸は針の左斜め後ろ付近で持ってください。

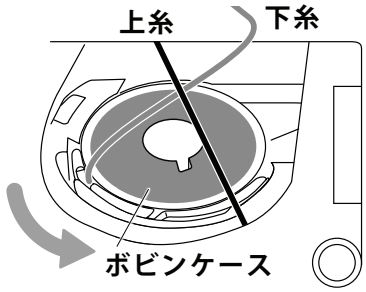


注意

・『 天びん 』が下がっていると糸が
引き出されません。

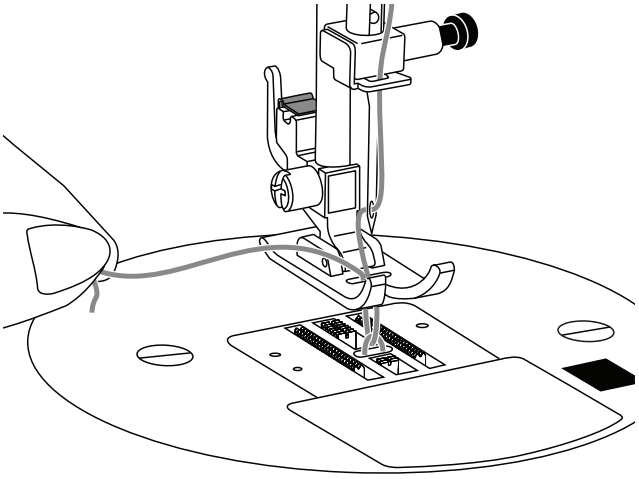
・『 はずみ車 』を後ろ側に回すと『 下糸の輪 』が
引き出されません。

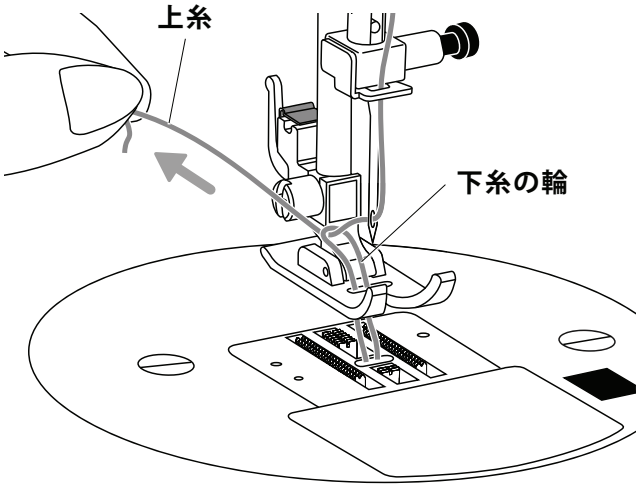
< ミシン右側面 >



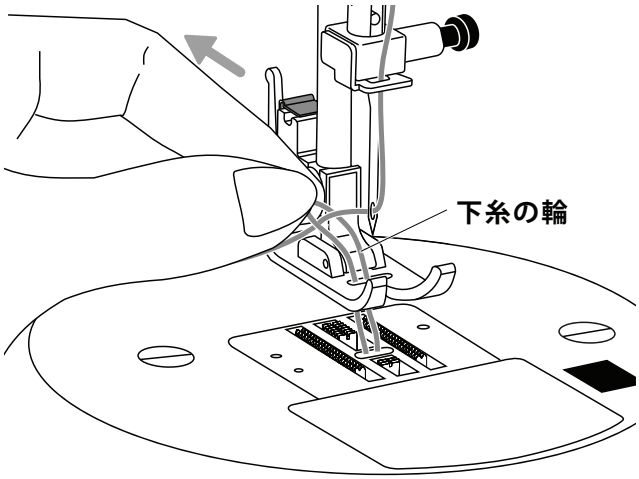
上糸が『 ボビンケース 』を通り
下糸を引き上げます。

＊『 ボビンケース 』は回転
しません。

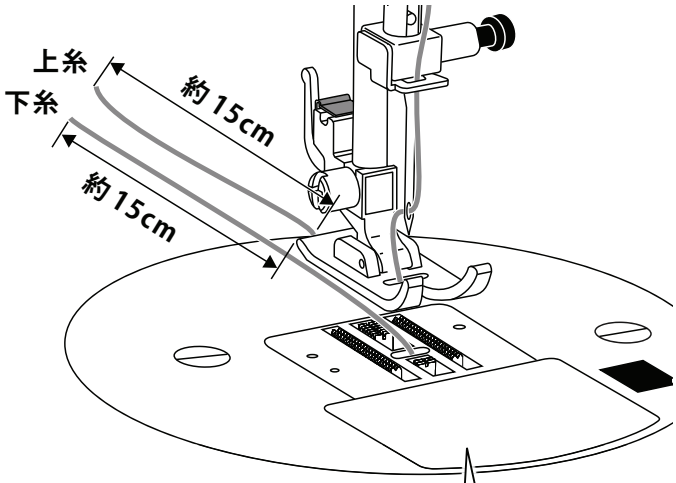




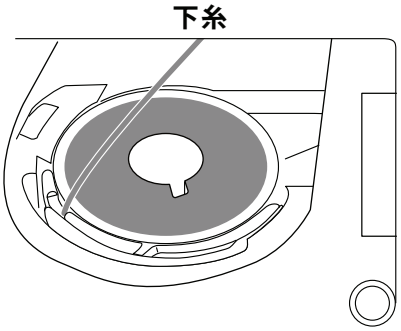
【4】上糸を左上側に引き、『下糸の輪』を引き出します。



【5】『下糸の輪』をつまみ、下糸を引き出します。



< ボビンケースの拡大図 >



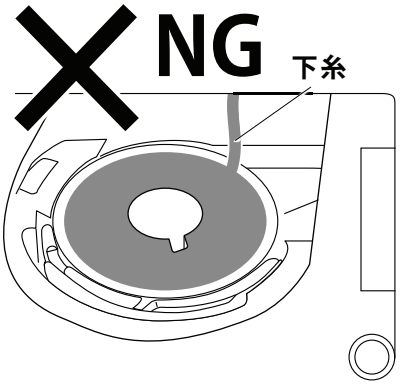
『 ボビン 』の左上に下糸が通っている
状態が正しい位置です。

【6】 上糸と下糸をそろえ『 押え 』の下に通し
15cm 程を後ろ側に引き出します。

注意

・糸が 15cm 以下の場合、縫い始めに
針から上糸が抜けて内部に引っかかり
ミシンが動かなくなることがありますので
必ず 15cm 以上引き出してください。

・下糸が下記の図のような状態は『 ボビン
ケース 』に糸がかかっていないので
糸調子が合わなくなります。
もう一度『 ボビン 』を取り出しセット
してください。



注意

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

・AC アダプターは必ず純正品を使用する。

ポイント！

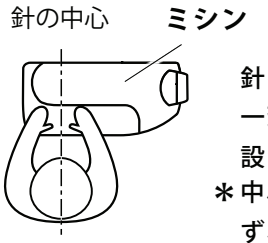
●ミシンをより快適に使うために

＊縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。

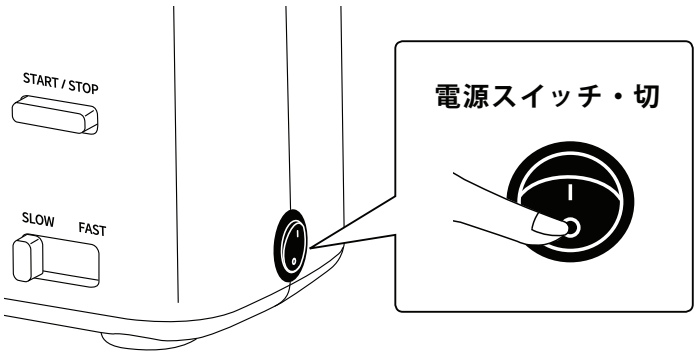
注意

・安定した場所にミシンを設置する。・作業スペースを十分に確保する。
・周囲に物を置かない。
はずみ車や針など動く部分が露出しています。ケガをする恐れがあります。

針先が無理なく見える位置にミシンを設置してください。



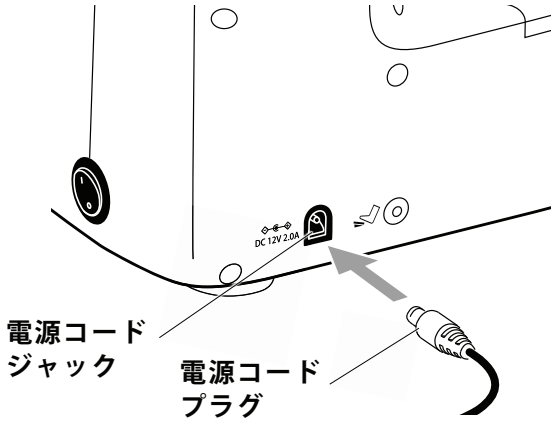
針の中心と身体の中心が一致するようにミシンを設置してください。
＊中心がずれてしまうと布もずれて進んでしまいます。



【1】『電源スイッチ』を『○』側に押し電源を切ります。

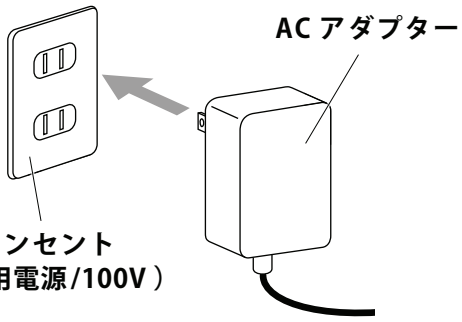
【2】『電源コードプラグ』をミシン本体の『電源コードジャック』に確実にさし込みます。

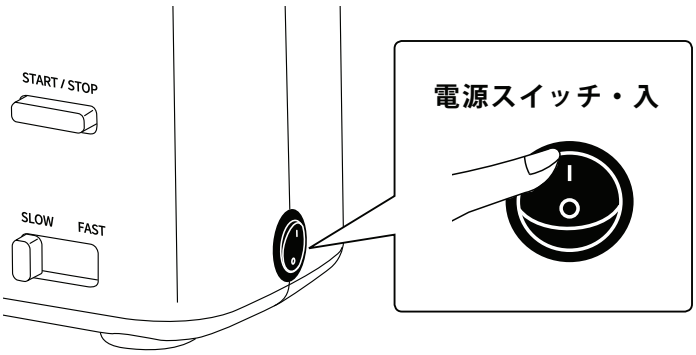
【3】『AC アダプター』を『コンセント（家庭用電源/100V）』に確実にさし込みます。



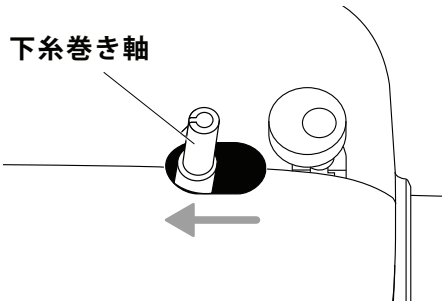
注意

『AC アダプター』を使用しているときは電池は必ず抜いてください。





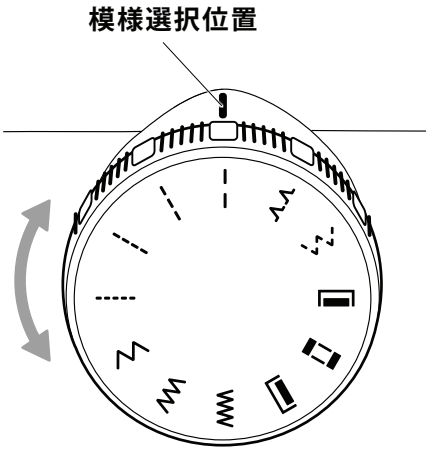
【4】『 電源スイッチ 』を『 I 』側に押し、電源を入れます。



【5】『 下糸巻き軸 』を左側にします。

注意

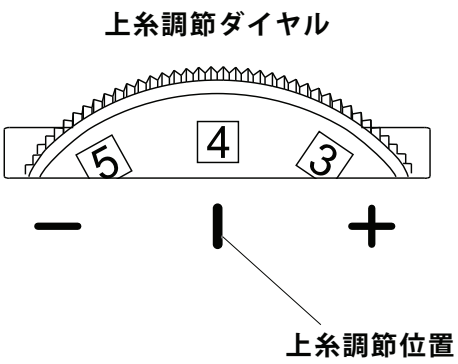
『 下糸巻き軸 』が右側にあると針は動きません。



【6】縫い模様を選びます。
（ P8 の模様選択を参照してください ）

注意

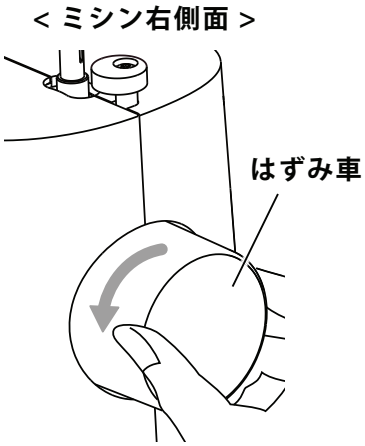
針が布に刺さった状態で『 模様選択ダイヤル 』を回さないでください。
針が折れ、ケガをする恐れがあります。



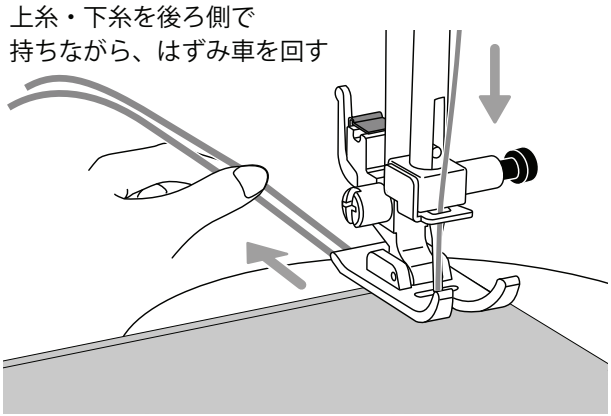
【7】『 上糸調節ダイヤル 』を『 4 』に合わせます。

注意

布の厚さや種類によって
『 上糸調節ダイヤル 』を回し調節します。
（ P34 の 糸調子の合わせかたを参照してください ）



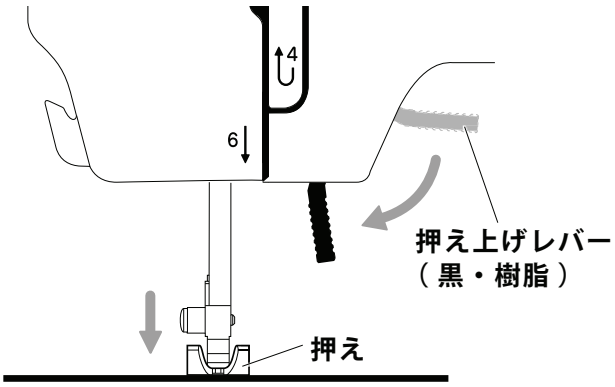
【8】 布を『 押え 』の下に置き、上糸と下糸を
ミシンの後ろ側で持ちながら『 はずみ車 』を
手前に回して、縫い始める位置に針を刺します。



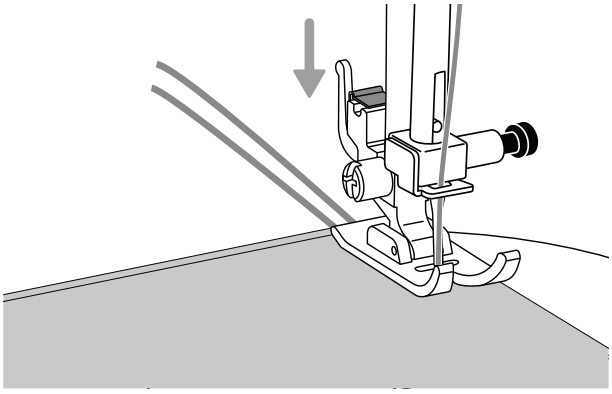
注意

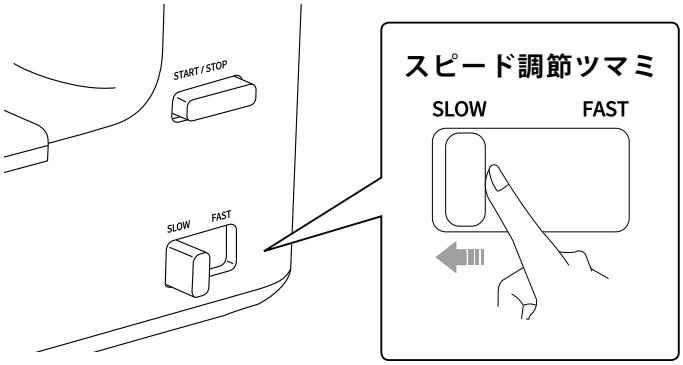
・上糸と下糸をミシンの後ろ側で持ちながら
針を刺さないと、縫い始めるときに
糸絡みが発生します。

・上糸が 15cm 以下の場合、縫い始めに針から
上糸が抜けて内部に引っかかり、ミシンが
動かなくなることがありますので、
必ず 15cm 以上引き出してください。



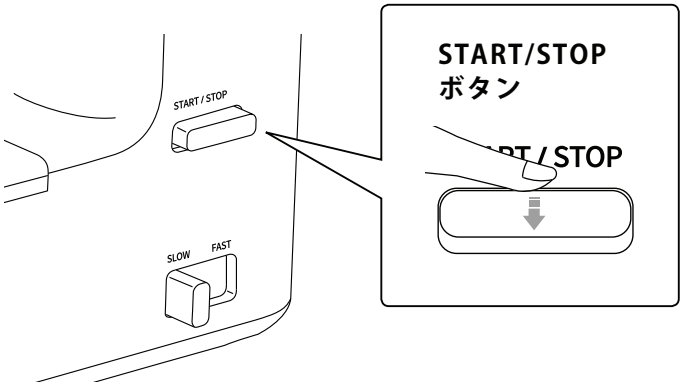
【9】『 押え上げレバー （ 黒・樹脂 ）』で
『 押え 』を下げます。





【10】『スピード調節ツマミ』を『SLOW』に合わせます。

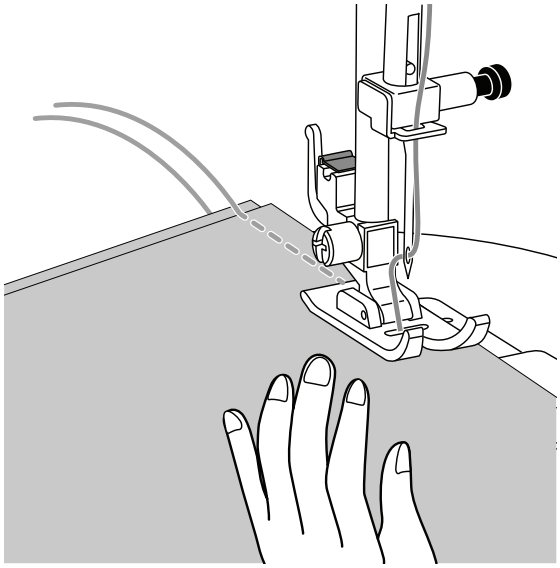
＊ミシンの速度に慣れるまで縫う速度は『SLOW』で縫ってください。



【11】『START/STOP ボタン』を押すと縫い始めます。

＊『START/STOP ボタン』は軽く押すだけでミシンは動きます。

【12】布に手を軽くそえ、布の進む方向を修正します。

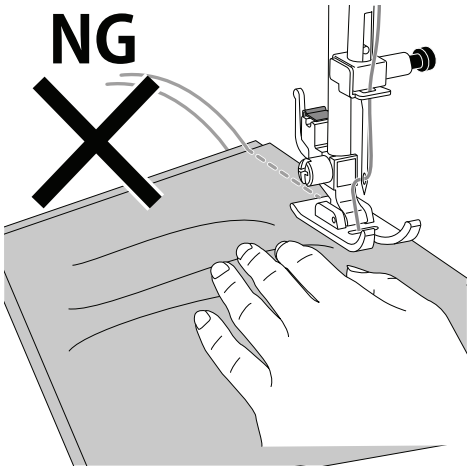


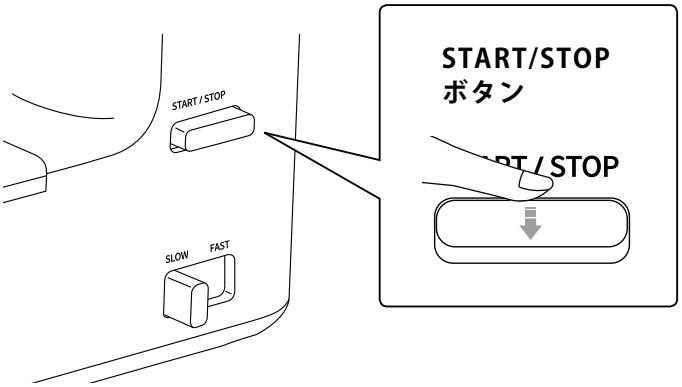
布に手を軽くそえる

注意

・『START/STOP ボタン』は強く押さないでください。

・布に手をそえるときは、押し進めないでください。



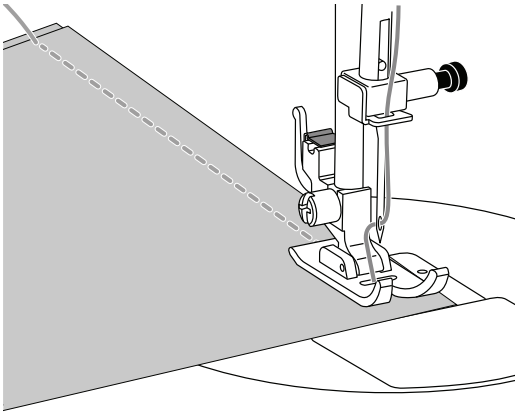


【13】縫い終わりまで縫ったら『 START/STOP ボタン 』を押し、ミシンを止めます。

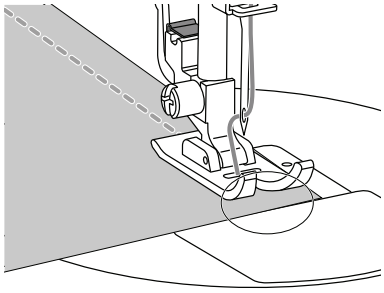
＊『 START/STOP ボタン 』は軽く押すだけでミシンは止まります。

注意

『 START/STOP ボタン 』は強く押さないでください。



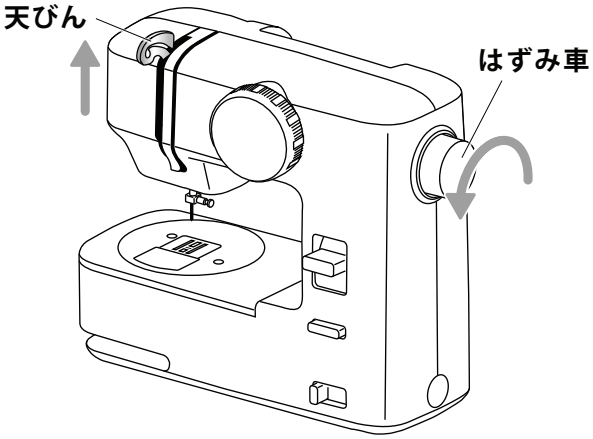
● 布端の縫い代を調節する場合



【1】 布の端を手回しで数針縫う場合は『 はずみ車 』を数回手前に回して縫い代を調節します。

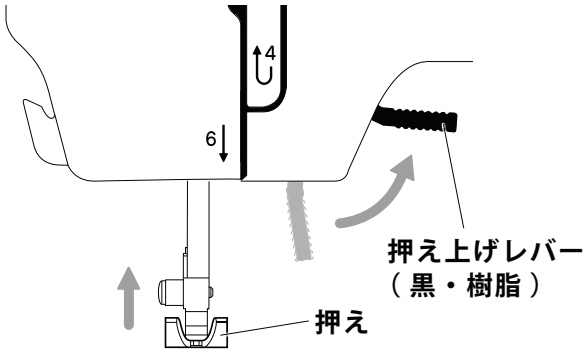
【2】『 はずみ車 』を手前に回して、針と『 天びん 』を一番上まで上げます。

< ミシン右側面 >

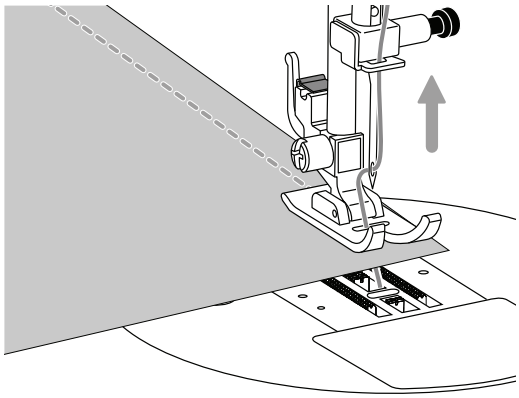


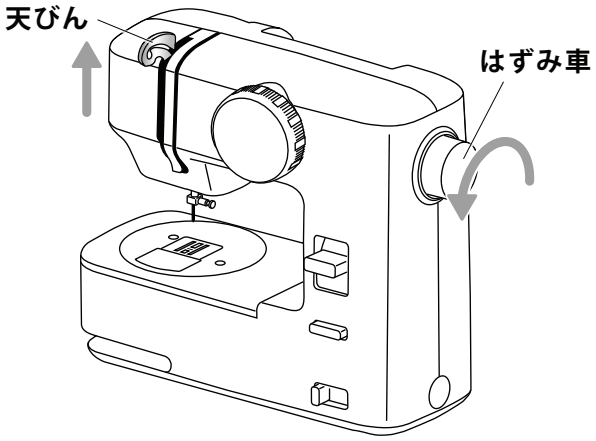
注意

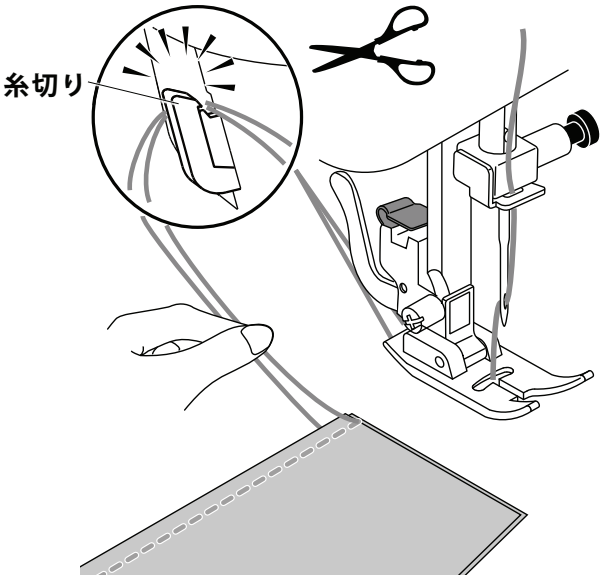
針と『 天びん 』を一番上まで上げないと布をスムーズに引き出すことができません。



【14】『押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『押え』を上げます。





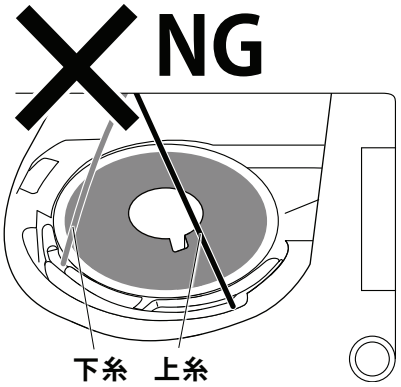


【15】『糸切り』で糸を切ります。

＊針と『天びん』が一番上まで上がっていないと
糸がカマの内部に引っかかり、スムーズに糸を
引き出すことができません。

注意

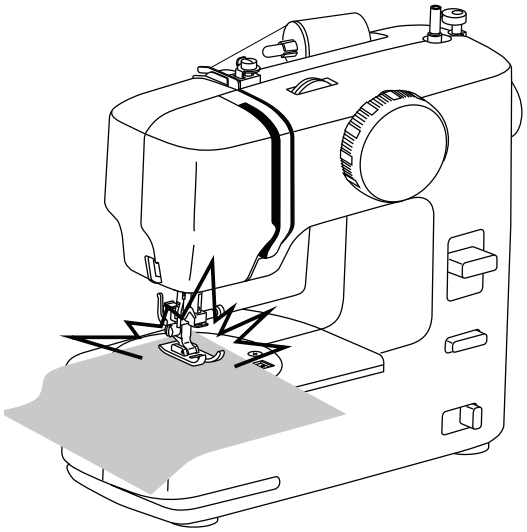
針が上がっていて『天びん』が上がって
いない場合は上糸が下記の位置で
止まることがあり、布をスムーズに
引き出すことができません。



●糸が絡んでしまったときは

注意

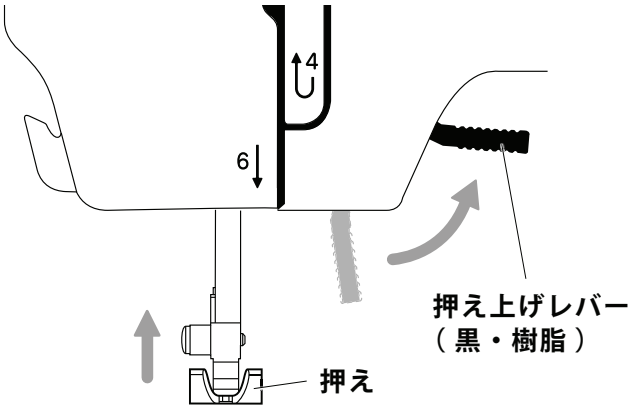
・縫っているとき途中で止まったり、針が刺さらなくなったときは
動かさないでください。
・布を無理に引っ張ったり、『はずみ車』を回さないでください。
故障の原因になります。



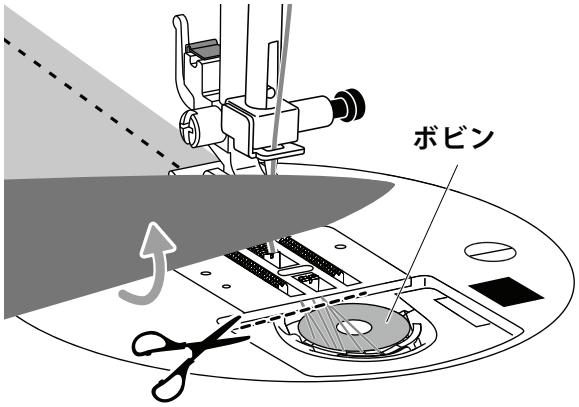
注意

縫っているとき途中で止まったり
針が刺さらなくなったときは
『はずみ車』を絶対に回さないでください。

< ミシン右側面 >



【1】『押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『押え』を上げます。

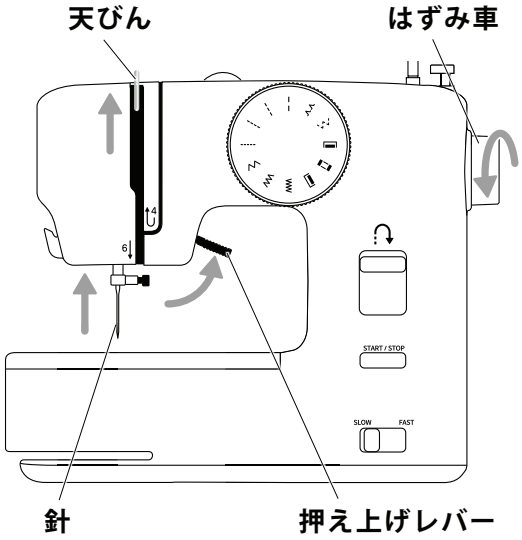


絡んだ糸をハサミで
切ります。

【2】『 ボビンカバー 』を開きます。

【3】 カマの中で絡んだ糸を切ります。

【4】『 はずみ車 』が軽く回ることができたら
針を上げて布を取り出します。



【5】『 ボビンケース 』に糸が絡むのは
上糸のかけかたに原因があることがほとんどです。
全ての糸を取りはずし『 天びん 』、『 針 』『 押え 』を
上げた状態で上糸を正しくかけ直してください。

＊試し縫いの縫い始めは必ず手で回して縫ってください。

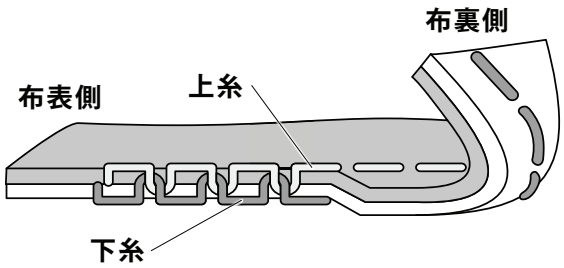
＊30 番以上の厚布用糸は使用できません。

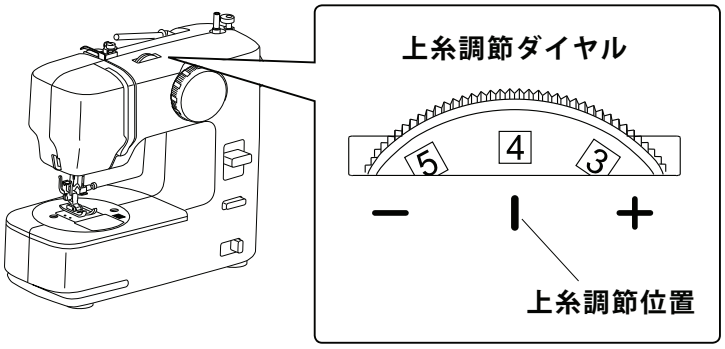
＊P36 の糸、針、布の関係を見直してください。

糸調子の合わせかた

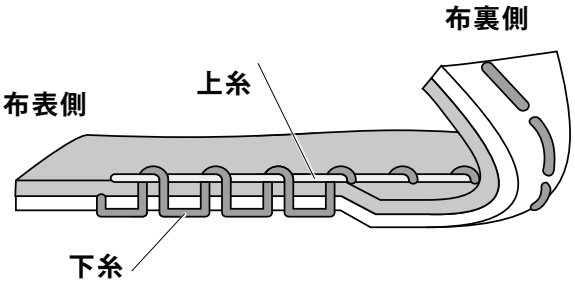
糸調子が合わない場合は、『 上糸調節ダイヤル 』を回し調節してください。

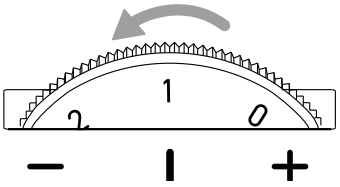
● 正しい糸調子　上糸と下糸が布のほぼ中央で交わります。





● 上糸が強いとき　下糸が布の表に出ています。

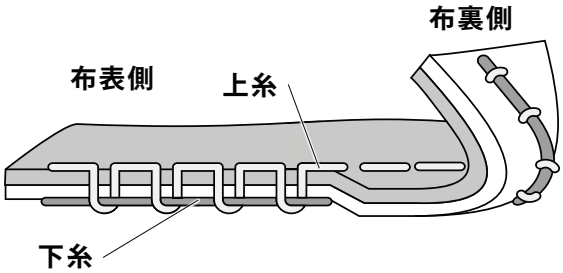


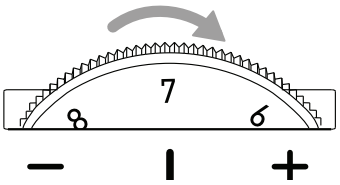


下糸が布の表に出る場合
『 上糸調節ダイヤル 』を数字の
小さくなる方に回します。

＊下糸のボビンが正しくセットされているかの確認もしてください。
(P15 の下糸のセットを参照してください)

● 上糸が弱いとき　上糸が布の裏に出ています。



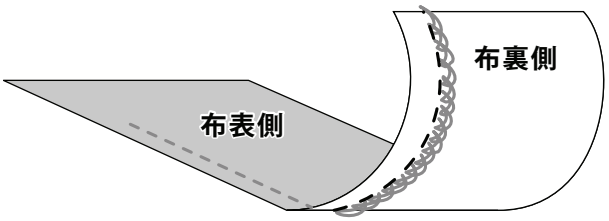


上糸が布の裏に出る場合
『 上糸調節ダイヤル 』を数字の
大きくなる方に回します。

＊上糸のかけかたが間違っていないかの確認もしてください。
(P18 の上糸のかけかたを参照してください)

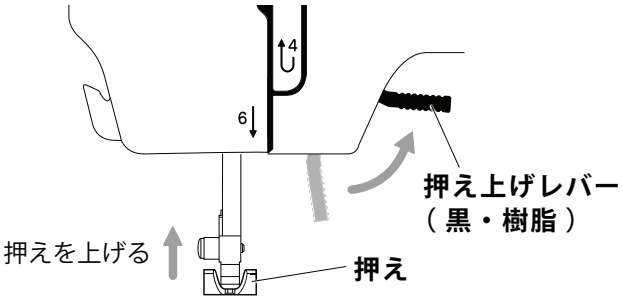
● 布の裏側の糸がタオル状になるときは

・上糸の糸調子が弱過ぎる。
・『 押え上げレバー 』が上がっている。
・上糸のかけかたが間違っている。
・『 カマ 』や『 針板 』に傷がある。
・ボビンの種類が異なる。



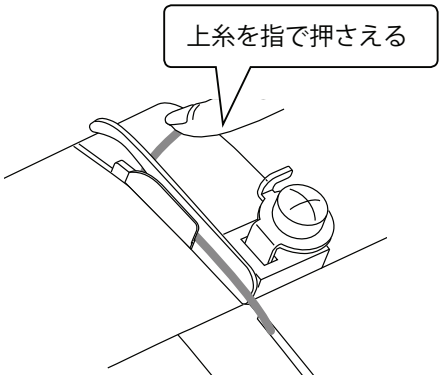
ポイント！

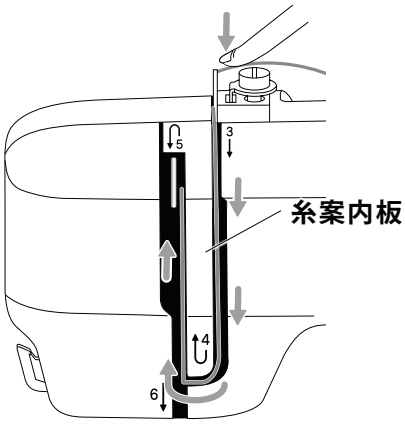
『 押え 』を上げ、上糸を全てはずし、再度上糸を正しくかけ直してください。
（ P18 の上糸のかけかたを参照してください ）
上糸を再度かけ直すとき、下の図に注意してください。



『 押え上げレバー （ 黒・樹脂 ）』で
『 押え 』を上げます。

＊『 押え 』が下がったままでは正しく
糸はかかりません。





上糸を押さえながら『 糸案内板 』に
そってしっかり糸を通します。

糸、針、布の関係

注意

・表に記載している糸以外は使用しないでください。
故障の原因になる恐れがあります。

このミシンは普通布に適した 14 番の針が標準装備されています。

● 下記の表は参考です。必ず試し縫いをして、縫い目をご確認ください。

	布の種類	針の種類・番号	糸の種類・番号	
薄布	一般裏地、ローン、レース ジョーゼット、キュプラ オーガンジーなど	9、11 番	綿 絹 化繊糸	60 ～ 100 50 ～ 90 60 ～ 90
普通布	一般布、ブロード、ソフトデニム サテン、パイル、ギンガム など	11、14 番	綿 絹 化繊糸	60 ～ 90 50 ～ 90 60 ～ 90
厚布	キルティング、＊フリース ツイード、フェルト 、デニムなど	14 ～ 16 番	綿 絹 化繊糸	40 ～ 50 50 50 ～ 60
伸縮布	ニット、スパンデックス トリコット、ジャージ など	ニット用針 11、14 番	綿 化繊糸 ニット用糸	60 50 ～ 90 50 ～ 90

● 針は数字が大きくなるほど太くなります。　● 糸は数字が大きくなるほど細くなります。
（ 針の交換方法は P45 の針の交換を参照してください ）

● きれいに縫うためには、布に合った針と糸をご使用ください。（ 上記の表を参照してください ）
上糸と下糸は同じ種類・同じ太さの糸をご使用ください。

● 針は 14 番のみ付属しています。9 番、11 番、16 番の針、ニット用針は付属しておりません。

● 針は家庭用ミシン針（ HA × 1 ）、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。
＊フリース、ベルベッド、バスタオルなどの毛足が長い布は、縫製に技術が必要なので推奨できません。
＊カタン糸、ニット用糸、テグス糸 (透明) の糸は、縫製に技術が必要なので推奨できません。

● 厚い布や固い布は、針が刺さりにくく止まってしまうことがあります。
その時は『 はずみ車 』を手前に回しながらゆっくり縫い進めてください。
（ 手で回しても固いときは、『 はずみ車 』を無理に回さないでください。故障の原因になる恐れがあります ）

● 糸こまに傷（ バリ ）や突起があると糸が引っかかり、うまく縫えない場合があります。
糸こまの向きを反対にする、または糸こまの外周が滑らかであることを確認してください。
糸こまの形状によって糸が繰り出せないこともあります。

悪い例：糸止めカットに糸が引っかかっている。

悪い例：糸こま押えに糸が引っかかっている。

● 糸は古くなるに従い劣化して切れやすく糸が引きにくくなります。
（ 天然素材の絹の糸（ シルク糸 ）や綿の糸（ カタン糸 ）は保存状態により異なりますが、約 1 年で劣化し始めます ）

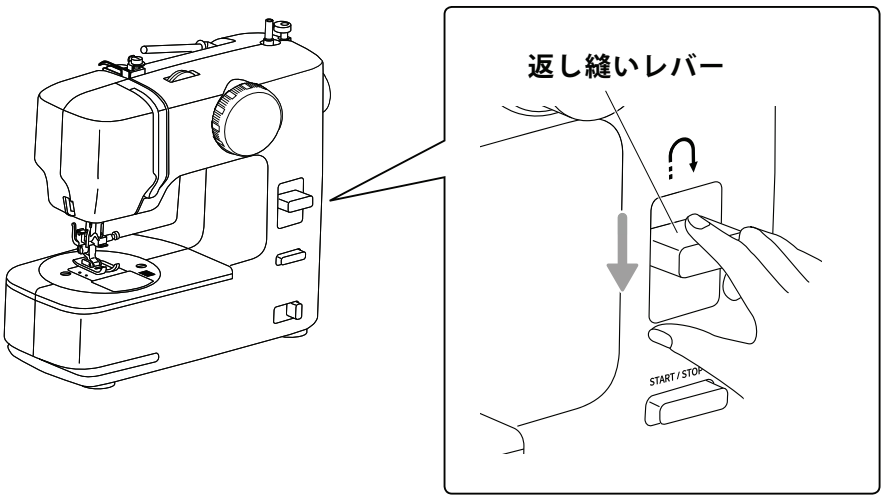
● ミシン糸と手縫い糸では糸の撚り（ ねじれ ）方向が異なります。手縫い糸（ 右撚り ）はミシンでは使用できません。
ミシン糸と表記のある糸でも右撚りになっている糸もありますので注意してください。

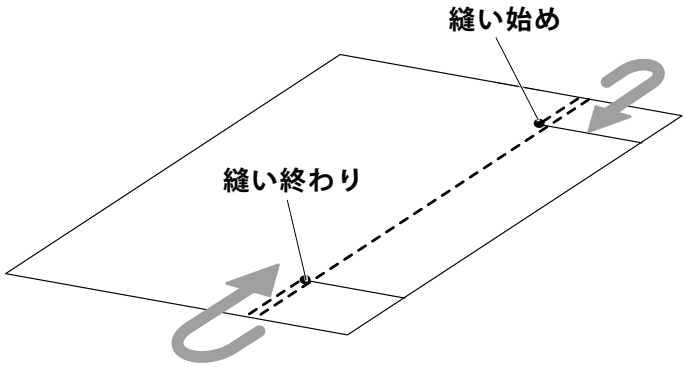
返し縫い

注意

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

・針が布に刺さった状態で返し縫いレバーを押さない。
針が折れ、ケガをする恐れがあります。

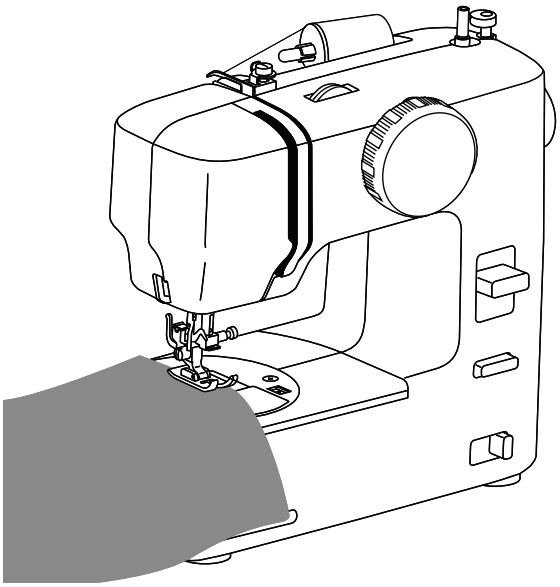




ミシンが動いているとき、『返し縫いレバー』を
押している間は後進縫いになり、
『返し縫いレバー』から手を放すと前進縫いに戻ります。

＊縫い始めと縫い終わりに返し縫いをすると
ほつれ止めになります。

フリーアーム

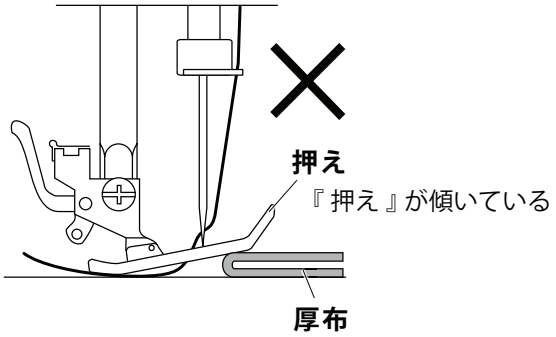


ズボンの裾や袖のような筒状のものを
左側からさし込んで縫うことができます。

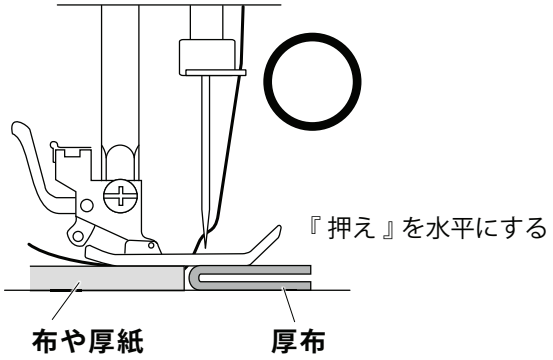
厚い布や段差を縫う

・厚い布は、布を貫布する力が必要なため、『電池』ではなく『ACアダプター』をご使用ください。

・厚い布や固い布は、針が刺さりにくく止まってしまうことがあります。
その時は『はずみ車』を手前に手で回しながらゆっくり縫い進めてください。
（手で回しても固いときは、『はずみ車』を無理に回さないでください。故障の原因になる恐れがあります）



【1】厚い布を布の端から縫い始めるときや持ち手を縫うときに『押え』が傾くと布が進まなくなることがあります。



【2】その場合、『押え』の下に布と同じ厚さの布や厚紙を置き、傾きをなくすと順調に縫い始めることができます。

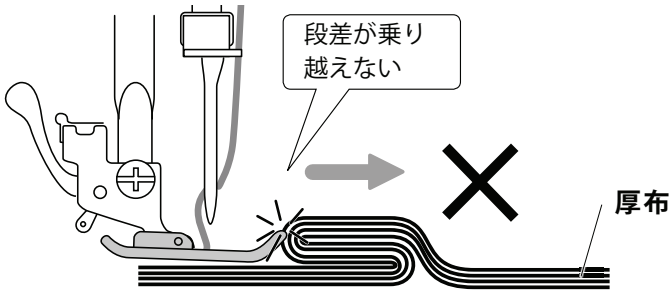
ポイント！

・タオル布を縫うときは、両端の耳を切り落としてから縫ってください。

・厚い布を縫うときの糸は、50、60番をご使用ください。30番の糸は使用しないでください。

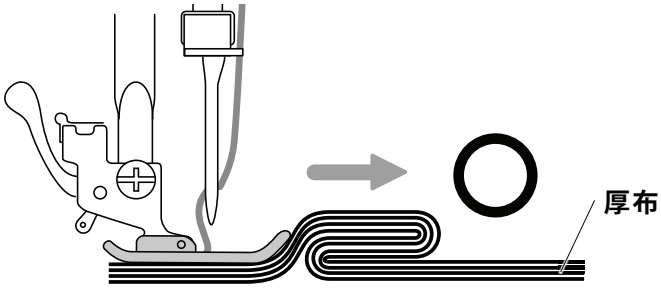
・厚い布を縫うときは、市販の家庭用ミシン針：16番を使用されることを推奨します。
（家庭用ミシン針：16番は付属しておりません）

●厚い布の段差



【布が送りにくい】

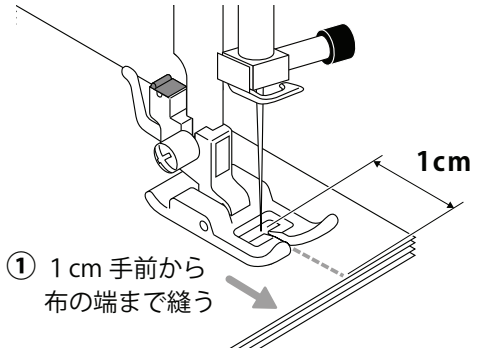
厚い布の折り重なった部分の方向に注意してください。
『押え』が布に引っかかり縫い進むことができなくなります。



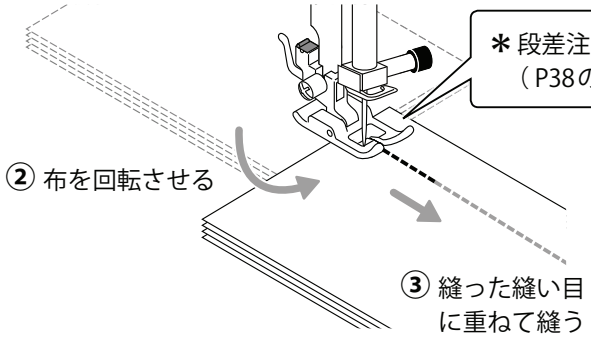
【布が送りやすい】

坂から縫うほうが縫いやすいです。

●厚い布の返し縫い



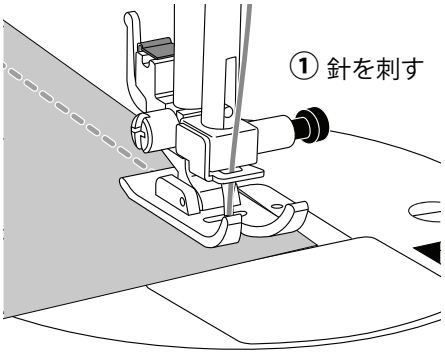
【1】 布の端から 1cm 手前のところに針を刺し
そこから布の端まで縫います。



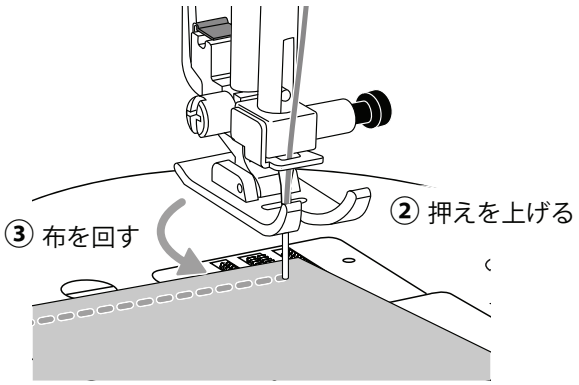
【2】 針を刺した状態のまま『押え上げレバー（黒・樹脂）』で『押え』を上げて、
布を回転させます。

【3】『押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『押え』を下げます。
先ほど縫った縫い目に重ねて縫います。

縫い方向の変えかた



【1】 布の角まで縫い、ミシンを止め
『はずみ車』を手前に回し、針を布に
一番深く刺します。



【2】『押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『押え』を上げます。

【3】 針を軸に布を回し、縫い方向を変えます。

【4】『押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『押え』を下げ、縫い始めます。

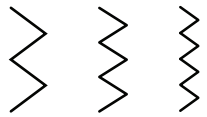
ジグザグ縫い／縁かがり縫い

布の端のほつれを防止します。

注意

・針先に注意する。
　ケガをする恐れがあります。

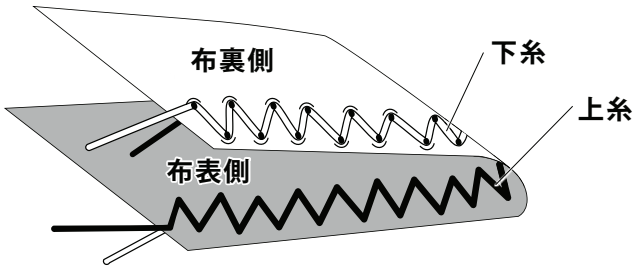
・針が布に刺さった状態で模様選択ダイヤルを回さない。
　針が折れ、ケガをする恐れがあります。

模様表示


●ジグザグ縫い

【1】『 模様選択ダイヤル 』で、ジグザグ模様を選択します。

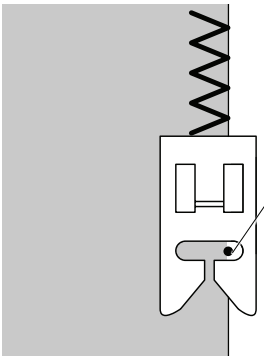
【2】『 押え 』を下げ、縫い始めます。



●縁かがり縫い

【1】『 模様選択ダイヤル 』で、ジグザグ模様を選択します。

【2】『 はずみ車 』を手前に回して針が右側のときに、布の端より針が少しはずれるように布を置き、『 押え 』を下げ、縫い始めます。



右側で針が刺さる位置は布の端より針が少し内側に入る位置にするときれいに仕上がります。
（ 特に薄布の場合 ）

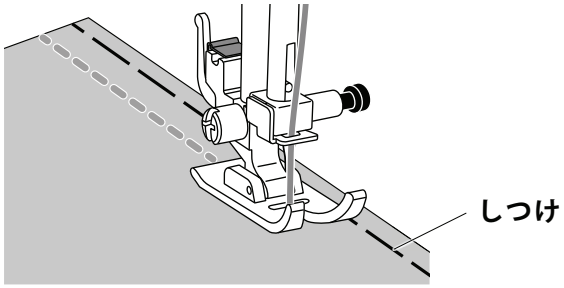
伸縮布を縫う

縫い目が飛ぶときは、市販の家庭用ニット用針をご使用ください。
＊『 家庭用ニット用針 』は付属しておりません。

注意

・針先に注意する。
　ケガをする恐れがあります。

・針が布に刺さった状態で模様選択ダイヤルを回さない。
　針が折れ、ケガをする恐れがあります。



縫い合わせる布がずれないように『 しつけ 』をして布に手をそえて縫います。

まつり縫い（裾上げ）

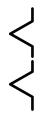
スカートやズボンの裾上げをするときに用います。
布の表面に目立たない縫い目です。

注意

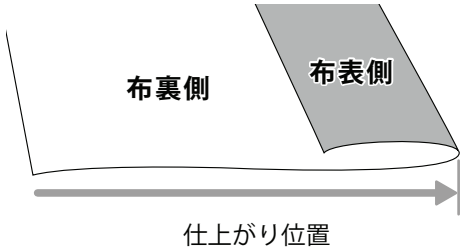
・針先に注意する。
　ケガをする恐れがあります。

・針が布に刺さった状態で模様選択ダイヤルを回さない。
　針が折れ、ケガをする恐れがあります。

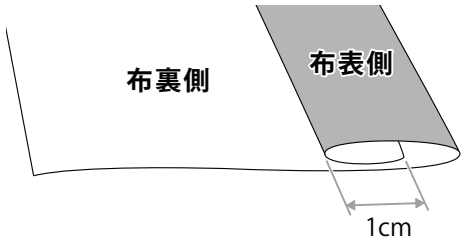
模様表示



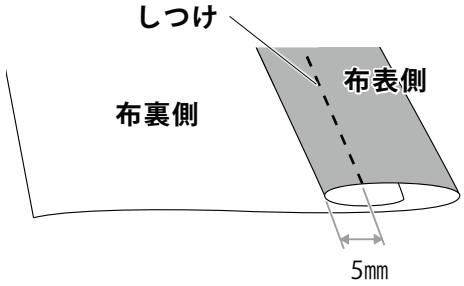
＊布の折りかたや縫う位置を間違えると縫い目が表に見えてしまいます。
　1 枚布で折りかたを確認してから縫ってください。



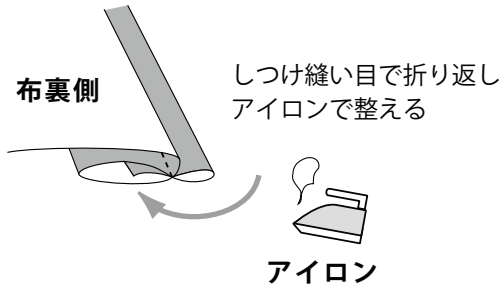
【1】仕上がり位置で折ります。



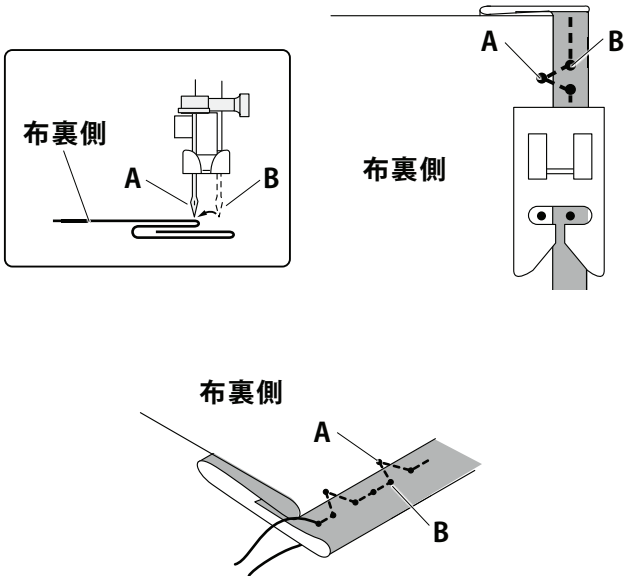
【2】布の端から 1cm 重なるように
折ります。



【3】5㎜の位置でしつけをします。

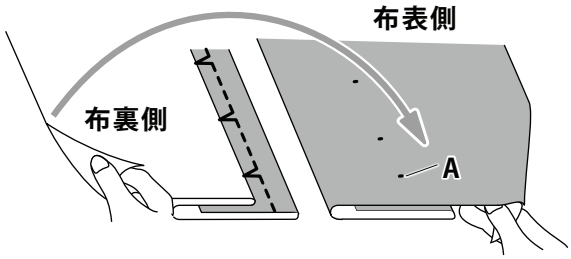


【4】図のようにしつけの縫い目で
折り返し、アイロンで整えます。



【5】『はずみ車』を手前に回し、針を左側でゆっくり下げます。布の折り山（A）にわずかに針がかかるように布の位置を合わせて縫います。

＊針がかかる量が少ないほど、表面に目立ちにくくなります。また、布の折り山に針がかからないと仕上がりが目飛びをします。



【6】布を返し、しつけ糸を抜きます。

ボタンホール縫い

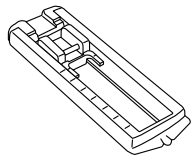
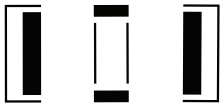
ボタンの大きさにあったボタンホールを縫うことができます。

注意

・押えの交換は電源スイッチを『 ○ 』にする。
突然動くとケガをする恐れがあります。

・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

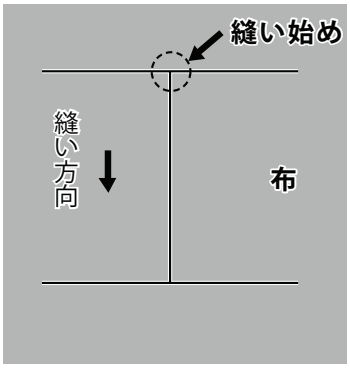
・縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別の布でボタンホールを作り
ボタンが通るか確認してください。

押え	模様表示
 ボタンホール押え	 1　2/4　3

ポイント！

＊伸縮性の布や薄い布は不織布 (芯地) を裏に貼るとより
きれいに仕上がります。

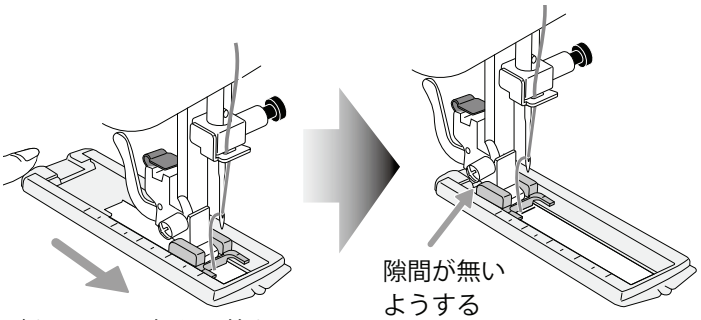
＊布に段差があるとボタンホールが正しく縫えないことが
あります。



【1】 ボタンの大きさと厚さ、布の種類に応じてボタンの
穴の長さを決め、ボタンホールを作る布に印を
付けます。

＊布に印を付けておくと、縫う方向を間違えません。

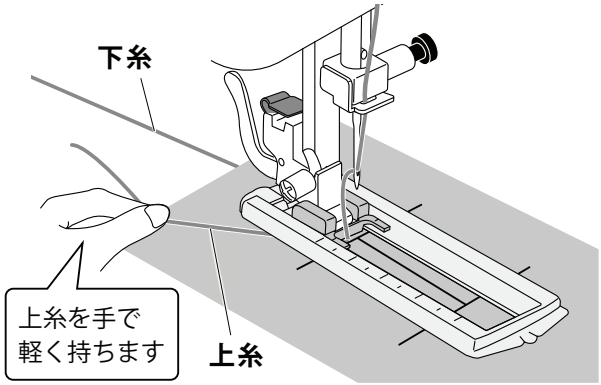
ボタンの穴の長さ＝ボタンの直径＋ボタンの厚み



ボタンホール押えの枠を
手前に引きます

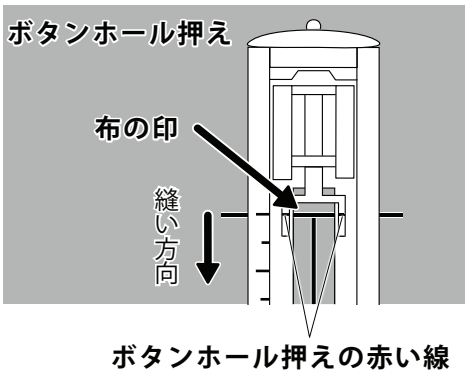
【2】『 押え 』を『 ボタンホール押え 』に交換し、
『 ボタンホール押え 』の枠を手前に引いておきます。
(P9 の押えの取りはずしかた・取り付けかたを
参照してください)

＊『 ボタンホール押え 』は『 押え上げレバー 』を
2 段目まで上げて交換してください。
(P9 の押え上げレバーを参照してください)



【3】 上糸を『 ボタンホール押え 』の下に通します。

＊上糸と下糸は『 押え 』の後ろ側に出してください。

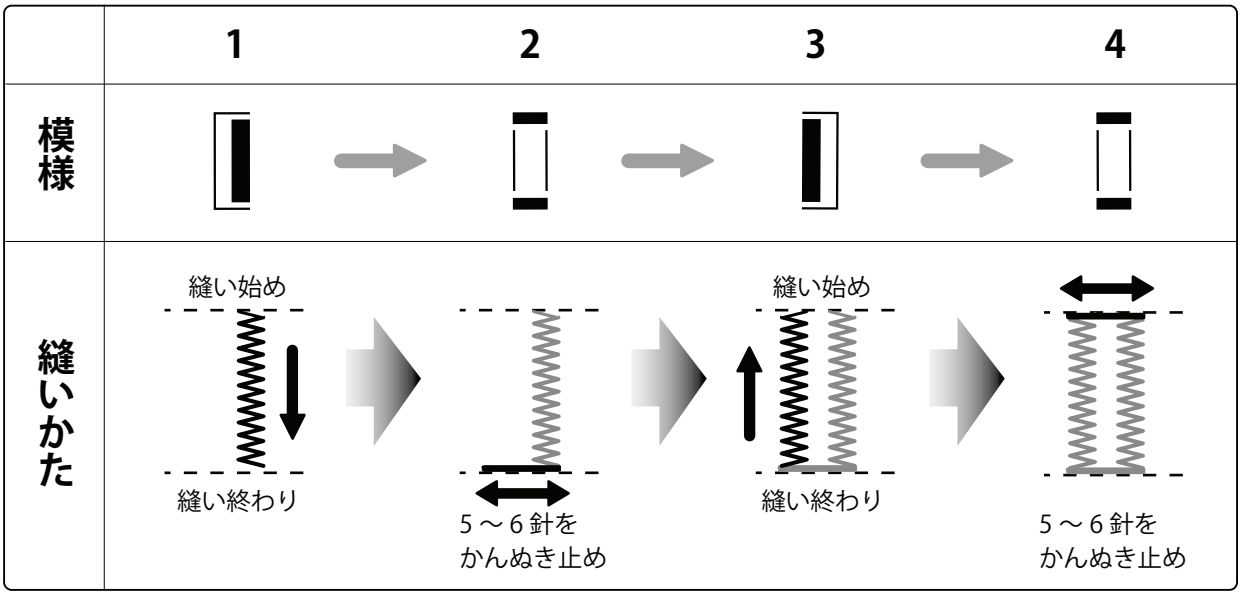


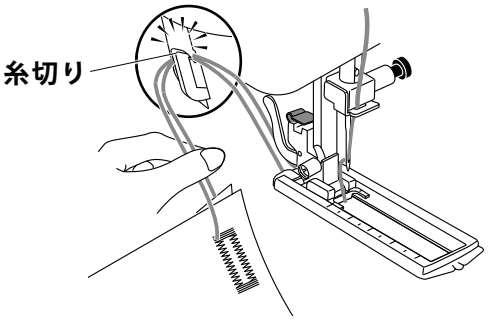
【4】 布に付けたボタンホールの印と『ボタンホール押えの赤い線』を合わせて、布を置きます。『押え上げレバー』で『ボタンホール押え』を下げます。

＊布が斜めになっていると、ボタンホールが布に対して斜めに作られますのでご注意ください。

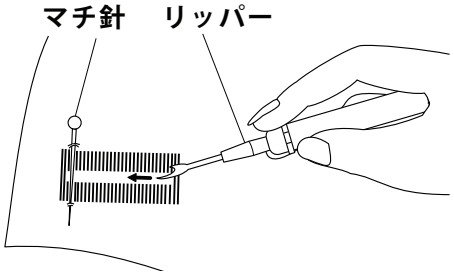
【5】 以下の手順で縫い始めます。

1.『模様選択ダイヤル』を回して、『ボタンホール模様 1』を選択し、上糸を軽く持ち、ミシンを動かして縫い始めます。縫い始めから縫い終わりまで縫い、ミシンを止めて持っている上糸を切ります。
2.『模様選択ダイヤル』を回して、『ボタンホール模様 2』を選択し、ミシンを動かして 5 ～ 6 針をかんぬき止めをしてミシンを止めます。
3.『模様選択ダイヤル』を回して、『ボタンホール模様 3』を選択し、ミシンを動かして縫い終わりから縫い始めまで縫いミシンを止めます。
4.『模様選択ダイヤル』を回して、『ボタンホール模様 4』を選択し、ミシンを動かして 5 ～ 6 針をかんぬき止めをしてミシンを止めます。





【6】『押え上げレバー』で『ボタンホール押え』を上げ糸切りで糸を切ります。



注意

・リッパーの先端に手をそえない。ケガをする恐れがあります。

【7】 ボタンホールの穴に市販の『リッパー』を刺し押しながらボタン穴を切り開きます。

＊マチ針をかんぬき部分に刺しておくとボタンホールの切り開き過ぎを防止します。

＊『リッパー』、マチ針は付属しておりません。

●針の交換

注意

・電源スイッチを『 ○ 』にしてから
ACアダプターをコンセントから抜くまたは電池をはずす。
突然動くとケガをする恐れがあります。

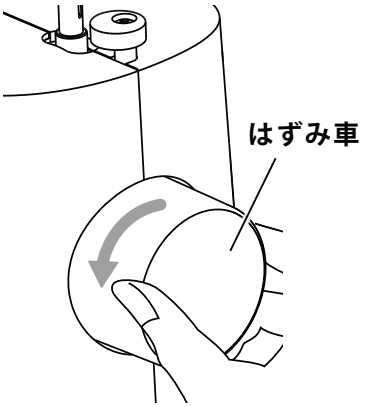
・針先に注意する。
ケガをする恐れがあります。

・針止めネジはしっかり締めます。
ミシン動作中に針が落下して、ケガをする恐れがあります。

・針は平らな面を後ろ向きに付ける。
針が折れ、ケガをする恐れがあります。また、縫い目ができず縫えません。

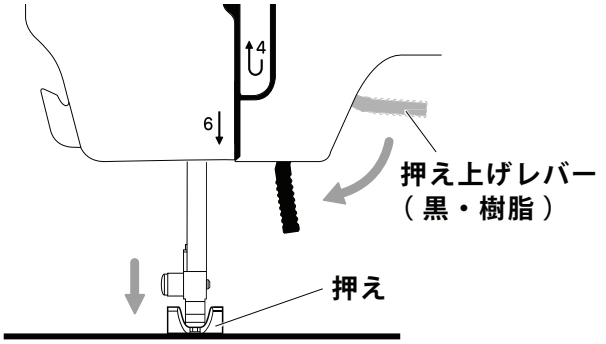
・針を交換するときは専用の針板ドライバーで交換する。
手で締めると縫っているときに針が抜け、ケガをする恐れがあります。

< ミシン右側面 >



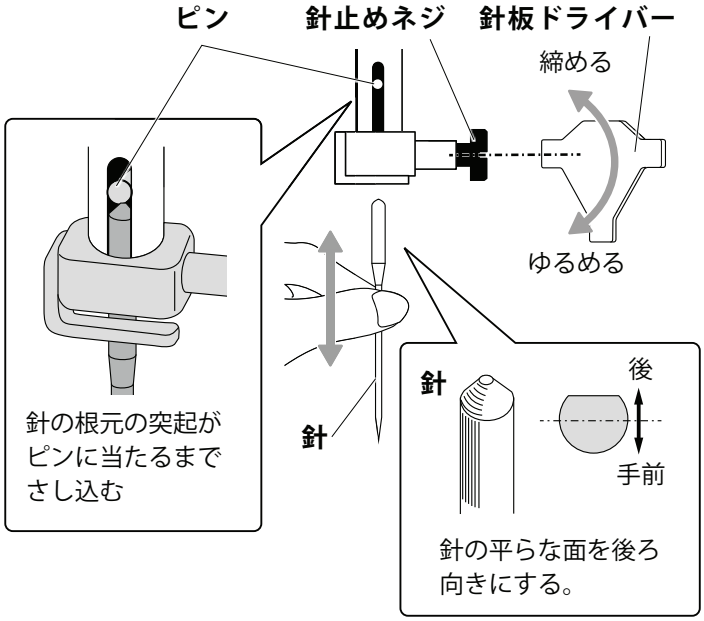
【1】『 はずみ車 』を手前に回し、針を上げます。

< ミシン正面 >



【2】『 押え上げレバー（黒・樹脂）』で
『 押え 』を下げます。

＊針が落下しないように『 押え 』の下に
紙などをしきます。



【3】付属の『 針板ドライバー 』を使用して
針を交換します。

・針のはずしかた
取り付けられている針を持ち、
『 針止めネジ 』を 1 ～ 2 回転程回し
ゆるめて針を下に引き抜きます。

・針の取り付けかた
新しい針の平らな面を後ろ向きに持ち
奥までさし込み、『 針止めネジ 』を
しっかり締めます。

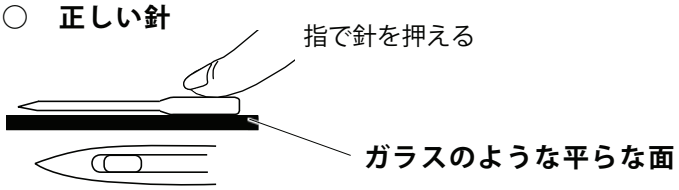
＊針が根元のピンに当たる位置まで入って
いるか目で見て確認してください。

●正しい針の選びかた

・曲がった針は使用しないでください。
　ケガをする恐れ、または故障の原因になります。

・家庭用ミシン針 (HA × 1) を使用してください。

○　**正しい針**



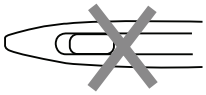
＊ガラスのような平らな面に針を置き、針の曲がり具合を確認してください。

・目飛び、糸絡みがする場合、針に不具合がある場合があります。一度針を交換してください。

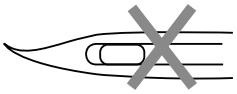
・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、『 針板 』やカマに傷を付けます。
　新しい針に交換してください。

×　**悪い針**

全体に曲がっている



先端のつぶれ

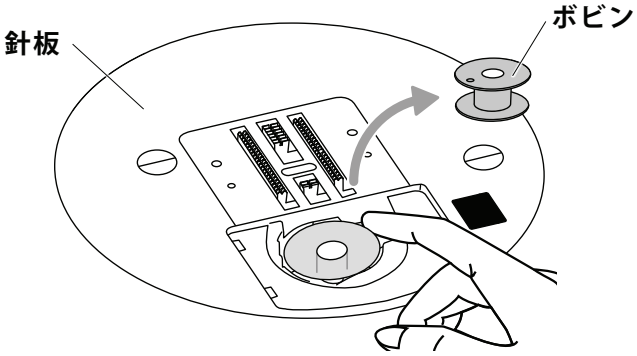


先端の曲がり

●ボビンケースのそうじ

・電源スイッチを『 ○ 』にしてから
　AC アダプターをコンセントから抜くまたは
　電池をはずす。
　　突然動くとケガをする恐れがあります。

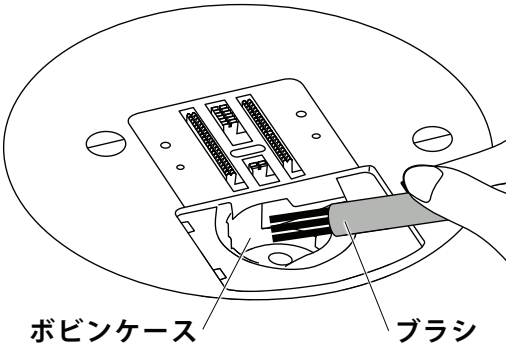
・説明書に記載してある以外の
　修理、改造、分解は禁止。
　　ケガをする恐れがあります。



【1】『 ボビンカバー 』と『 ボビン 』をはずします。

注意

『 針板 』をはずすと故障の原因になりますので
『 針板 』は分解しないでください。



【2】『 ブラシ 』などで『 ボビンケース 』の
　　糸くずやホコリを取り除きます。

＊『 ブラシ 』は付属しておりません。

困ったときは

不具合	原因	処理	ページ
ミシンが動かない	AC アダプターのさし込みが不十分	AC アダプターをしっかりさし込む	6
	電池を入れる向きが異なる	電池の向きを正しく入れ直す	7
	電源スイッチが「切」になっている	電源スイッチが「入」にする	6、26
縫い始めてすぐ止まる	天びんから糸が抜けている	天びんに糸をかける	20
	曲がった針を使用している	新しい針に交換する	45
	電池の容量が減っている	全て新しい電池に交換する	7
	縫い始めや段差の箇所で押えが傾いている	押えが水平になるように合わせる	38
糸が絡まる	上糸調子が弱過ぎる	上糸調子を適正な強さにする	34
	上糸調節器皿に糸が入っていない	押えを上げてから、上糸調節器皿に糸をかけ直す	17、35
	縫い始める前に下糸を引き上げていない	下糸を引き上げる	22
	縫い始めの糸がカマに絡んでいる	上下の糸をミシンの後ろ側で持ちながらはずみ車を手で回し縫い進める	28
	糸こまの糸止めカットが左側にある	糸こまの糸止めカットは右側にする	18
ミシンが途中で止まる	糸が絡んでいる	絡んだ糸を取り除き、糸をかけ直す	32
	使用しているボビンの種類が違う	正規のボビンを使用する	5、49
	縫い始めの糸が引き込まれている	上下の糸をミシンの後ろ側で持ちながらはずみ車を手で回し縫い進める	28
	布の枚数が多い・段差があり布が進まない	布の枚数が多いところは、はずみ車を手で回す・押えを水平にする	38
	布を引っ張っている	手は軽く添えるだけにする	29
	ボビンカバーを取り付けていない	ボビンカバーを取り付ける	16
布の裏がタオル状になる 縫い目に輪ができる	上糸が上糸調節器皿からはずれている	糸を全てはずし、最初からかけ直す	18
	押えを下げていない	押えを下げる	28
	上糸調子が弱過ぎる	上糸調子を適正な強さにする	34

不具合	原因	処理	ページ
上糸が切れる	上糸、下糸のかけかたが間違っている またははずれている	糸を全てはずし、最初からかけ直す	15
	上糸調子が強過ぎる	上糸調子を適正な弱さにする	34
	糸こまの糸止めカットが左側にある	糸こまの糸止めカットは右側にする	18
	針が曲がっている。針先が欠けている	新しい針に交換する	45
	糸立て棒に糸が巻きついている	糸立て棒から糸をたるませない	-
	針や糸が布に合っていない	布に合った針と糸を使用する	36
	針の取り付けかたが間違っている	正しく針を取り付ける。 針を針棒の奥までさし込んで固定する	45
	使用しているボビンの種類が違う	正規のボビンを使用する	5、49
	糸が古く、切れやすい	新しい糸に交換する	-
下糸が切れる	下糸のかけかたが間違っている	下糸を正しくかけ直す	15
	ボビンケースの中で糸を引いてもボビンが 回らない／ボビンが巻きかたが悪い	正規のボビンを使用する ボビンの糸をきれいに巻きなおす	5、49 11
	ボビンの巻き始めの糸を切っていない	ボビンの外側の糸を根元から切る	13、15
	糸が古く、切れやすい	新しい糸に交換する	-
針が折れる	布を無理に引っ張っている	手は軽く添えるだけにする	29
	布に対して針が細い	布に合った針を使用する	36
	針の取り付けかたが間違っている （針の向きが間違っている 奥までさし込まれていない）	正しく針を取り付ける	45
	上糸調子が強過ぎる	上糸調子を適正な弱さにする	34
縫い目がとぶ	針が曲がっている。針先が欠けている	新しい針に交換する	45
	針の取り付けかたが間違っている （針の向きが間違っている 奥までさし込まれていない）	正しく針を取り付ける	45
	針や糸が布に合っていない	布に合った針と糸を使用する	36
	針に通す糸の方向が逆になっている	糸は針穴に前から後ろに通す	21
下糸がキレイに 巻けない	糸こまの糸止めカットが左側にある	糸こまの糸止めカットは右側にする	11
	糸がゆるく巻かれる	下糸巻き案内に糸が正しくかかっていない	12

不具合	原因	処理	ページ
布を送らない	布が押えの高さを超える程厚い	押えの高さを超えない布に変更する	9
	押えが下がっていない	押えを下げる	28
	縫い始めや段差の箇所で押えが傾いている	押えが水平になるように合わせる	38
	手で布を引っ張っている	手は軽く添えるだけにする	29
布がシワになる	上糸調子が強過ぎる	上糸調子を適正な弱さにする	34
	上糸、下糸が途中で引っかかっている	糸を全てはずし、最初からかけ直す	15
	針や糸が布に合っていない	布に合った針と糸を使用する	36
	縫い目が細かくなっている	縫い模様を大きくする	8
下糸を引き上げられない	糸を手で持っていない	上下の糸をミシンの後ろ側で持ちながらはずみ車を手で回し縫い進める	28
	はずみ車を反対に回している	はずみ車を手前に回す	28
	針に通す糸の方向が逆になっている	糸は針穴に前から後ろに通す	21
回転が重い	針先が潰れている / 欠けている	新しい針に交換する	45
音が大きい	厚い布を縫っている	異常ではありません	-

＊ これらの現象、原因以外の不具合はミシン内部の調整や部品の磨耗による交換または電気系統の故障が原因となっている可能性があります。ご購入店または弊社サービスセンター（P50 を参照してください）までご相談ください。

仕様

型式：ME-20	サイズ：W30 × H26.4 × D13.2cm	最大送り量：3.8㎜	最大振り幅：4㎜
重量：2.5kg	カマタイプ：水平全回転ガマ	返し縫い送り量：2.5㎜	使用針：家庭用ミシン針（HA × 1）
ボビン：家庭用プラスチックボビン（高さ 11.5㎜×直径 20.5㎜）		定格消費電力：14W	回転速度：150 ～ 400rpm
適用電源	AC アダプター	入力：AC100-240V　50/60Hz　0.8A 出力：DC12V　2.0A	
	電池	単３形アルカリ電池× 4 本	

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

【1】 このミシンのご購入者には、ご購入店から 1 年間の「 無料修理保証書 」が発行されます。
内容をお確かめの上、大切に保存してください。

【2】 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

【3】 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、弊社にお申し付けください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常 7 年間は必要に応じて弊社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

【1】 取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスを致します。ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店または、弊社にご相談ください。

イ.保存上の不備または、落下による破損、誤使用により不調、故障または損傷したとき。

ロ.浸水、冠水、火災、天災地変により不調、故障または損傷したとき。

ハ.ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。

ニ.ご購入店または弊社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。

【2】 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元どおりに修復できないことがあります。

【3】 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

お問い合わせまたはご相談先

ミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記弊社サービスセンターでも承っておりますのでご遠慮なくお申し付けください。

株式会社 アックス ヤマザキ サービスセンター

お問い合わせのメールフォームに移動します。

TEL： **0120-405-851**
携帯電話からもご利用になれます。

E-Mail：**info@axeyamazaki.co.jp**

平日 9：00 ～ 17：00(土・日・祝祭日除く)

〒 544-0022　大阪府大阪市生野区舎利寺 3-12-5　株式会社 アックス ヤマザキ
TEL：06-6717-5851　FAX：06-6741-7875　平日 9：00 ～ 17：00(土・日・祝祭日除く)

＊住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。
＊純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記弊社サービスセンターにおたずねください。
＊ご購入頂きましたミシンは、上記の専門工場で点検修理等のサービスを致します。
＊サービスには有償修理点検と無償修理点検があります。ミシン送付前に必ず弊社サービスセンターにお問合せください。

＊ミシンを工場へ送付されるときは、必ずこのミシンの箱と緩衝材（クッション）をご利用ください。
＊運送時、ミシンが揺れてミシン本体が破損してしまう場合があるので梱包するとき注意してください。

ミシン保証書

型　式		エムイー ME-20 シリーズ	機械番号	
※お買い上げ日		年　月　日	保証期間	お買い上げ日より本体1年
※お客様	ご住所	〒　TEL　様方		
	ご芳名（フリガナ）	様		
※販売店	住所 店名	〒 TEL		

ご購入後には
※印欄への記入の
有無をご確認下さい。
記入がないときは
ご購入日、または
お届け日が証明できる
伝票等を添付して
ください。
本書は再発行
致しません。
紛失しないように
大切に保管して下さい。

無料修理保証に付いて

1. 無料修理保証期間（ご購入の日から1年間）内に故障が発生した場合は、無料で故障箇所の修理調整または故障部品の交換を致します。
2. 無料修理保証は表記のミシン本体のみとし、針などの消耗部品は除きます。
3. 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書をご提示してください。
4. 保証機種がコンパクトミシンまたは軽量可搬のポータブルミシンなどであるときは、そのミシンを購入店へご持参、またはご相談ください。

無料修理保証が受けられない場合

次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。

1. 取扱説明書に記載してある使用方法または保存方法と異なる方法によったため不調、故障または損傷したとき。
2. 落下による破損、浸水、冠水、火災、天災地変により不調、故障または損傷したとき。
3. ご購入店または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
4. 職業用など過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
5. 特別なご依頼により点検、精密検査または分解および掃除などをしたとき。
6. この保証書のご提示がなかったとき。
7. この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。
8. この保証書の字句の訂正または書き換えをしたとき。
9. この保証書は日本国内に限り有効と致します。 This warranty is valid only in Japan.

有償修理について

上記の1.～9.に該当する場合、その他有料で修理するときの費用は、別に定める必要部品代および技術料の合計額と致します。

お問い合わせまたはご相談先

この保証書に記載してありますご購入店または、取扱説明書に記載された「サービスセンター」にお申し付けください。

お客様へのお願い

1. この保証書は、本書によって明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理について、ご不明の場合はご購入店または、弊社の「サービスセンター」などにお問い合わせください。
2. 取扱説明書の「修理サービス要領」をよくお読みください。
3. この保証書は紛失されても再発行致しませんので、大切に保管してください。

AXE YAMAZAKI【保証責任者】 株式会社 アックス ヤマザキ
〒544-0022 大阪府大阪市生野区舎利寺 3-12-5
TEL:06-6717-5851

No.199R1 202302 PRINTED IN CHINA